

月刊「ワークホームだより」 1月号

発行:平成 30年 12月 27日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



実光さんが作ってくれました

新しい年を迎えて!

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

最近の枕詞は、「平成最後の〇〇」。2019年4月末をもって新年号に変わるから、「平成」が使われるのもあと4か月である。だからといって何かが変わるのだろうか。答えは、「変わるかもしれないし、変わらないかもしれない」が正解であろう。つまり、何かが変わるのは、「変わる」ではなく「変える」と理解すべきだと思う。

いよいよ、2019年という新たな一年が始まる。ワークホーム高砂は何を変えて行かなければならないのかと自問自答している。利用者のために変えて行かなければならないのは何なのか。変えてはならないものは何なのか。私を含めて職員一人ひとりが考えなければならないテーマである。その際に重要なのは、現状の正しい判断と課題の抽出である。それが前提となって「変える」べき内容が明確になる。そのためには、意見を出し合って互いの考え方や想いを「共有」することが大切である。それが、チーム作りの基本である。

「変化」を好む人と好まない人がいる。変えるべき課題が明確となっても「取り組める人」と傍観する人がいるのも現実である。だけど、少なくとも私たちのチームは、利用者の豊かな人生の応援のために一丸となって取り組めるチームでありたいと思う。新年を迎え、そんな当たり前のことから始めなければならないと思っている。

2019年も保護者の方々をはじめ、関係各位のご支援をよろしく申し上げます。

感染症対策報告!!

感染症対策の進捗についてお知らせします。12月より仕分け作業の作業服をつなぎに変更しました。手首、足首はゴムになっており、素材はポリエステル100%で埃等の侵入を防ぎ、表面の付着も大幅に軽減されています。帽子についてはキャップから使い捨てヘアキャップに変更し、手袋は軍手からナイロン製の使い捨ての物に変更しました。ヘアキャップ、手袋に関しては外す度に新しいものと交換する形になっています。また、安全面を考慮し安全靴も導入しました。常勤看護師による手洗い指導も全利用者に行い、一人ひとりが衛生面を意識できるよう心掛けています。また、水溶性ランドリーバックの導入につきましてはGOTOさんの協力のもと、現在契約顧客様に対し使用、取り扱いの説明を行うと同時に、試験的に水溶性ランドリーバックでの洗濯を行い機械の不具合等がないかチェックし、1月からの本格導入に向け準備を進めています。感染症対策についての研修はGOTO、ワークホーム双方参加で定期的に行うことで調整しています。今後も安全性につきましては万全を期していきますが、お気づきの点等がありましたらお知らせいただければ幸いです。(楠)



GOTO会議

12月25日、GOTOさんとの会議を開催しました。主な議題は感染症対策についての進捗状況の確認で水溶性ランドリーバック導入に向けた取引先様への通達、運用開始時期などを話し合いました。また、来年より合同研修会を行う事で日程の調整も行いました。もう一つの議題として機械の更新、導入についても話し合い、長期運営を見据えて今後も永続的な議題として取り扱っていくことを確認しました。(楠)

1月の予定

- 1月4日(金) 年始作業開始
- 1月9日(水) サークル活動、工賃支給日
- 1月16日(水) 職員会議・作業班会議
職員会議の日は15:00終わりにいたします。
- 料理クラブ(参加者:池上、伊集院、光宗)
- 1月20日(日) 保護者役員会
- 1月23日(水) サークル活動
- 1月30日(水) 清掃日

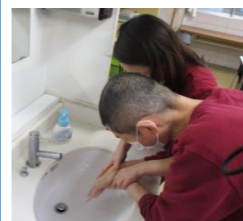


歌って、踊って、食べて、盛大に盛り上がったクリスマス会!

12月16日、保護者会主催のクリスマス会が開催されました。今回は総勢77名の方が参加され、場所もユアアイ帆っとセンターをお借りしていつもとは違った雰囲気でも盛大に行われました。内容は文化祭で披露したハンドベルと合唱、じゃんけん列車等のレクリエーション、緊張が伝わってきた職員によるハンドベル等で楽しい時間を過ごしました。また、今年を振り返るスライドではみなさん一つの思い出を振り返りながら盛り上がりを見せていました。昼食はお待ちかねの“梅はら”弁当! みなさん美味しくいただきました。昼食後はケーキとプレゼントタイム。1つ足りないかも…というハプニングもありましたが無事に利用者の皆さんに渡し、満足な表情をされていました。今回、参加していただいた保護者の方々、企画準備に携わっていただいた方々、ワークホームに多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。(藤本)



看護師コーナー!!



看護師のお仕事を一部ですが紹介します! 現在、特に力を入れているのが「手洗い」です。休憩時には一から徹底的に手洗い方法を伝えています。時には作業中に4~5名のグループに分かれて食堂にて、職員2名体制で実践的に手洗い指導をしています。始めてまだ一ヶ月ですが全体的に意識が高まっています!(久木原)

GH懇談会が実施されました

11月25日、希望山荘日笠、オリーブの家合同保護者懇談会をワークホームにて行いました。総勢27人でテーブルを囲み、数日前より準備し当日完成した手作りベーコンを食しながら保護者懇談会を行いました。保護者の方々からは利用者さんの家庭での様子や困っていること等、普段は知ることができない話を聞くことができ貴重な機会となりました。(木澤)

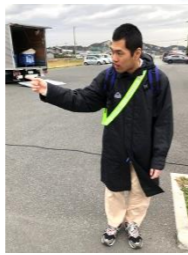


今月の担当は宮本でした

☆ワークホーム高砂最新トピックス☆

本田さん 自力通所への挑戦！！

これまでお母さんの送迎で通所していた本田さんですが今年
の10月より自力通所の練習を開始しました。この練習をする
にあたり、相談事業所 あいあむの濱口さんが行政に掛け合い
期限付きで移動支援を利用することができるようになりました。
そして移動支援事業所 モモの岩下さんが付き添う形で練習を
開始しました。初めは一緒に歩きながら付き添い、支援担当者会議
を開き、課題、問題点を各事業所、ご家族が共有し、みんなで問題解
決に取り組みました。11月からは少しずつ距離を置いて見守り、11
月後半からはワークホームも途中まで付き添い安全確認を行いまし
た。そして12月からはついに1人での通所を開始しました。色々な人
が関わり実現できた自力通所でしたが、
心配な気持ちを抑えて送り出す決断を
してくれたお母さん、なにより本人の頑張りが
あってできた自力通所だと思います。
今回の取り組みで、無理だからと
あきらめず、やってみようという
勇気の大切さを感じました。(楠)

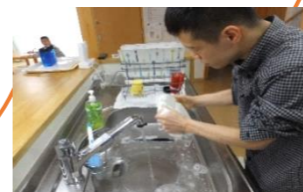


福田さん オリーブの家体験入居開始！！

生活の幅を広げていけるようにと11月24日から週末のみではありますが
隔週でオリーブの家の体験入居を開始しました。初めての場所で生活
するということでもかなり緊張もあったと思います。体験前日に

「頑張ってオリーブの家に泊まること」を約束し、体験スタート！！

体験中は地域の公園清掃に参加して草引きを一緒に行ったり、みんなで食べる
お菓子作りをしながら過ごしました。普段、本人と関わる機会が少ない中で、オリーブ
の家での生活を通して、色々な「顔」を知ることが出来ました。これからの課題はあり
ますが、まず本人が無事に体験できたこと、また、体験の様子を聞いたお母さんも喜ばれ
ていたと聞き嬉しくなりました。今後も「グループホームでしかできないこと」を意識
しながら本人と一緒に頑張っていきたいと思います。(中右)



今月の料理クラブ

12月12日、今津香苗さん・棒谷さん・
松永さんの3名と三輪で参加しました。
八幡巻き・ちくわ門松・白みそ雑煮・
栗きんとん・小豆ご飯と「お正月メニ
ュー」です。八幡巻きは松永さんが仕上げ、
雑煮に入れるエビの処理は今津さんが
ちくわを門松に見立てて棒谷さんが飾
り付けを担当しました。赤・緑・黄色と
見た目もきれいな「お正月ワンプレート
ランチ」が出来上がりました。(三輪)



就労支援フォーラム NIPPON2018

12月8日～9日、東京都にあるベルサール新宿グ
ランドで行われた就労支援フォーラムに楠主任と
西野で参加しました。全国から1600名の参加が募
り「フォーラム5回目を迎えて。成果と課題を検証
する」をテーマに、様々な講演やパネルディスカ
ッションがありました。工賃を5万から10万円まで
上げてきた実経験を伝えたい報告者と、少しでも学
んで帰ろうとする参加者の熱気に圧倒され
たのと、全国ならではの多種多様な報告があり面白
かったです。「これって、少しアレンジしたら出来
るかもしれない」とか「意識改革・機能分離」
等、思考の持ち方
を変えるヒントも
多く学ぶことが
出来ました。

(西野)



たくさん研修会に参加しました！！

就労支援研修会



12月5日、加古川市民
会館で行われた障害者就労支援研修
会に参加してきました。今回の研修で
は、「精神障害者の就労支援について」
や「企業がどのような人材を求めている
のか？」など具体的なお話を聞くこ
とができました。その中でも、就労移
行訓練を利用し、実際に就労された方
(当事者)からの話を伺うことがで
き、就労後の悩みや周囲のこういった
配慮がありがたいなど、なかなか当事
者でなければ気づきにくい場面のお
話をして頂きました。今回の研修を受
けて、今まで以上に丁寧な関りを意識
しようと思いました。(桂)

インターンシップ in KOBE

今冬もインター
ンシップフェアが始まり
ました！毎回、あかり
の家の金鹿職員が
スライドショーの
説明を行ってくださるの
ですが、今回は岡田も1度だけ説明させていた
だきました。自分では大きな声を出したつもりで
したが、会場内の賑わいにかき消され思うように後
ろまで声が届かず…。改めて“法人あかりの家の
看板を背負って参加していること”を考え、“ど
のように法人あかりの家を私らしくプレゼンす
るか”に悩むことが出来た1日でした。1人でも
多くの学生さんに、あかりの家のインターンシッ
プに参加してもらえるよう、これからも法人あ
かりの家をPRしていきたいです！(岡田)



強度行動障害支援者養成研修(実践)

12月17日～18日、神戸市にある総合リハビリテーションセンターにて行われた強度行
動障害支援者養成研修(実践)に木澤副主任と宮本で参加させていただきました。他施
設の方々とグループディスカッションを行いながら、自分が思う利用者支援を伝えたり、
逆に聞かせていただいたり大変貴重な機会となりました。また、講義の中で「チーム
力」のお話がありました。利用者さんと関わる際、支援員の専門性が問われる場面があ
ります。専門性向上には利用者さんとの関係性、専門知識の習得、そして職員が一丸と
なり、同じ目標に向かっていくことができるチーム力が必要になってきます。今後、いか
にチーム力を高めていくかを意識しながら日々励んでいきたいです。(宮本)

グループホーム研修会



12月13日、尼崎市中小企業センターで行われた第14回近畿地区
グループホーム等職員研修会に参加させていただきました。今回のメインテーマは「グ
ループホーム制度施行から30年を迎えて」です。現在のグループホームでは重度化、高
齢化、老化、早期後退等の介護や医療ケアに関する課題が多くなってきています。パネ
ルディスカッションでは、医療連携で看護師や薬剤師が定期的に訪問支援している報告
などを聞きました。高齢化はどのホームでも共通の課題と言えます。利用者が一番幸せ
な方法を日々考え、支援していきたいです。(木澤)

月刊「ワークホームだより」 2月号

発行:平成 31年 1月 25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



あの頃を思い出して新たな歩みを!

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

平成31年も無事にスタートしました。早いもので私が法人あかりの家に来て9年が経過しようとしています。あかりの家副園長として3年が経過した春の頃、「あかりっこ」(あかりの家機関紙)に次のような文章を載せました。タイトルは、「花を見て美しいと思う心を大切にしたい」。この仕事に対する想いの一端を記した文章です。改めて紹介することで、自分自身の原点を再確認し、新たな歩みを進めたいと思います。

神戸の垂水駅から山陽電車に乗って通勤し始めて3年目に入った。大塩駅からは、古い町並みが残る細い路地を抜け、たんぼ道を通り、山の裾野にあるあかりの家までは自転車通っている。ゆっくり、のんびり、朝の空気と自然を感じながらの通勤は、人が自然の一部であることを改めて僕に教えてくれている。

今から15年前、僕は明石市にある県立清水が丘学園で児童指導員をしていた。そこは、不登校の小中学生が入所している施設だった。様々な理由で「学校に行かない」「学校に行くことができない」或いは、「学校を拒否することでしか自分を表現することができない」子ども達が生活していた。施設生活の中で「人との関係」を学び、他人に自分を映し出すことで自分を知る、そうした営みを続けながら自分の足で歩く実感を得て、結果として再登校ができるようになる、そんな施設だった。

そこで僕が学んだことは「真剣に子ども達と向き合う」ということの意味だった。多くの子ども達が大人に裏切られ、大人を信頼できないでいた。その大人の多くは、「親」だったように思う。そんな彼らに、口先だけで「学校に行け」だとか「親のいうことを聞け」だとかと言ったところで、彼らは逆にどんどん遠ざかり、自分の殻に閉じこもる。説教することではなく、「して良いことと悪いこと」をちゃんと伝えること。そして、いつか解ってくれることを信じてぶれることなく言い続けること、信じ続けること。そして、共に汗を流し、真剣に子ども達の想いに耳を傾け、彼らの心の内にある想いに共感できたとき、初めて、彼らは受け入れてくれるのだということを学んだのだった。

15歳の春に彼らは卒園をする。自立の扉を自分の力で開けていく子もいれば、時間切れで卒園せざるを得ない子どももいた。卒園式の前に一人ひとりに配る色紙に、いつも僕はこう書いていた。「ゆっくりと歩む道だから、周りの景色もちゃんと見えるよね。目的に向かって最短の道を大急ぎで走り続ける人生もあるけれど、寄り道や回り道の中でしか見えないものもあるんだよ。」

あの頃の子ども達も、今では既に30歳を超えている。あの時よりも凄いスピードで社会が変化し、合理性や効率性が価値の中心になってしまった。しかし、僕は今でも「ゆっくりと自分らしく歩むことの価値」を大切にしたいと思い続けている。

通勤途上のたんぼ道で、沢山の花を見かけ「きれいだな」と感じる季節が訪れている。冬枯れの雑木林も緑の葉が吹き始めている。自転車をゆっくり、のんびりこぎながら、時々鼻歌でも歌い、自然の一部である僕を満喫しながら、今日も「あかりっこ」達の顔を見ることの喜びを噛みしめている。



2月の予定



2月5日(火)	保護者参観
2月6日(水)	サークル活動
2月8日(金)	保護者参観
2月11日(月)	保護者参観
2月13日(水)	清掃日・工賃支給日
2月16日(土)	保護者参観
2月20日(水)	職員会議・作業班会議

職員会議の日は 15:00 終わりになります。

2月24日(日)	一年を振り返る会
2月27日(水)	サークル活動



☆保護者参観を実施☆



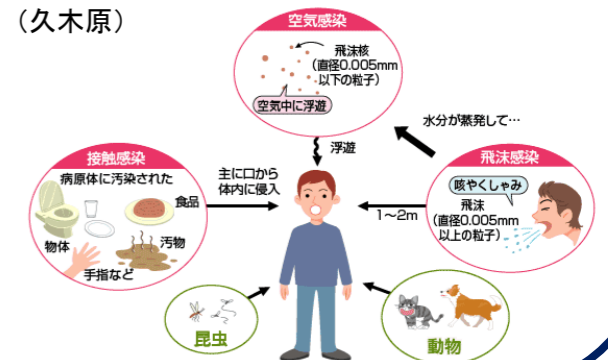
実施日時・場所



- | | |
|---------------------------|------------------|
| ① 2月5日(火) 10:00~11:45 | クリーニング作業・納豆作業の参観 |
| ② 2月8日(金) 10:00~11:45 | クリーニング作業・納豆作業の参観 |
| ③ 2月11日(月・祝日) 14:30~15:30 | 納豆作業の参観 |
| ④ 2月16日(土) 10:00~11:00 | クリーニング作業の参観 |

クリーニング研修開始

クリーニング研修の一環として、久木原が勉強会の担当を務めさせて頂く事となりました。第一回目の内容としては、まず「感染症とは何か?」から始めました。感染症の総論から勉強会を始めようと思ったのは、まず“感染症の基本となるもの”を改めて勉強し直す事が、大切だと感じたからです。私自身、感染症総論の資料を作っている中で理解はしていましたが忘れていたことや、新たに勉強になった事もあり、改めて基本を勉強する事の大切さを確認できました。また、質疑応答ではたくさんの質問があり、普段疑問に思っている事を確認できたりと、有意義な研修会ができたと思います。今後は病院内や施設でよくみられる感染症のノロウイルスや疥癬など具体的な感染症疾患の勉強会を行う予定です。勉強会を通じて、利用者さんの健康・衛生管理にもつなげたいと思います。(久木原)



今月の担当は桂でした



新年の作業がスタート

クリーニング班

今年度も年末年始の5日間の連続休暇を実施することができました。毎年のことながら年始には大量の洗濯物が待っています。連続休暇を実施した4年前は1週間全利用者に出動してもらい、更にお昼休みを15分短縮して作業をこなしました。翌年は3日間職員、利用者全員出動、翌々年は通常出勤で作業をこなせるまでになりました。そして今年はどうと、年始作業開始日が4日金曜日という事もあり、2日目は土曜日で利用者数半分、3日目は月曜日で利用者数半分プラス、タオル・仕分け作業がない日という事で少し心配していました。結果はというと、仕分け作業は2日間、たたみ作業は4日間、タオル作業も6日間で作業をこなすことができました。シーツ作業だけは機械のキャパシティもあり徐々に減ってきている状況で1月後半に年末年始分が無くなる予定にしています。毎年この時期同じことを思いますが、利用者さんの成長を実感しています。(楠)

納豆班



1月4日の初出日。朝から小粒4kgの豆炊きからのスタートです。出来立て納豆をお届けしようと、この日は一日で作れる最大量の12kgを焚き上げ延べ600個を作りましたが、毎週の定期注文分や、YAMADAストア様への納品分には足りないくらいです。お歳暮用にもご注文を頂きましたが、お正月後も「お友達にも上げたいから」とのご注文や、コンスタントに売り上げが伸びていて、商品が出来たら即配達の日々が続いています。「たくさん売れて凄いな(^_^)」と嬉しい悲鳴！作業中は普段以上に意識集中して頑張っています。今日も“なっとこちゃん”を付けた可愛い！？車が走っていますよ。(三輪)

GH会議～生活を豊かに～

1月9日、グループホーム会議を実施しました。グループホーム会議は毎月実施していて、利用者さんの近況や運営に関する検討事項の確認を行っています。今回は年末年始の利用者さんの様子を確認しました。初詣に行ったり、おせち料理を食べて満喫された方、自宅でゆっくりと過ごされた方々でした。今後もより良いグループホームの生活を確保していけるよう、みんなで意見を出し合い会議を通じて職員間の情報共有を図りたいと思います。(宮本)



★看護師の前田さんのお仕事ってな～に！？★



先月、新人職員紹介として看護師の久木原さんを紹介しましたが、実はワークホームには前田さんという看護師さんがもう一人います。5年目になる前田さんは月に2日ワークホームに来てくれます。お仕事は、利用者さんの体重測定や歯ブラシのチェックと消毒。また、職員に向けての「感染症対策」等含む研修会の実施です。これまで学習した一例は、季節に応じた内容も含め「熱中症・インフルエンザ・疥癬・傷や火傷の処置方法・糖尿病・結核・はしか・MRSA・皮膚真菌症」等々。特徴や対処方法などを、分かりやすく教えていただいています。(西野)

★賀詞交歓会に参加しました★



1月22日(火)、神戸はメリケンパークオリエンタルホテルにて賀詞交換会が行われました！ワークからは齋藤施設長と岡田、保護者会からは光宗さんが参加されました。今年は『高齢化』というテーマのもと、親の立場・施設の立場からの研修も行われました。研修後は、美味しい食事を頂きながら多くの方と交流出来ました。(岡田)



米田さんの通所回数が増えました

友愛の家の米田さんは毎週土曜日のみワークホームに通所していましたが、本人の自立促進を図る為、昨年12月13日(水)に、ご家族(本人含む)、あかりの家の職員、ワークホーム高砂の施設長と桂で話し合いを持ち、利用日数を増やすことになりました。今月の8日から利用日数を週1回(土曜日のみ)から週3回(火曜日、木曜日、土曜日)に増やしています。利用日数が増えるので、作業の種類を見直したり、社会性の向上などの支援を強化していきたいと思っています。(桂)



全員で初詣



文化祭の練習で長らく休止していたサークル活動を1月から再開しています。1月9日の初回は全員で曾根天満宮に初詣に出かけました。各々今年の誓いを胸にお参りし、みんなで和菓子いただきました。寒い日ではありましたが、梅のつぼみもふくらみはじめていて、みんな美味しそうにお菓子をほおぼる姿が印象的でした。今年も忙しい作業の合間の息抜きとしてみんなが楽しめるサークル活動を職員全員で企画していきたいと思っています。(楠)



サークル活動再開



みんなで綺麗に美しく！



1月23日(水)は、女性利用者さん・久木原さん・三輪さん・岡田で美容サークルを行いました！今回のテーマは“スキンケア”。洗顔・フェイスパックの後は、美容部員の経験もある久木原さんのフェイシャルエステも。皆さん、しっとりモチモチになった肌を触りながらうっとりされていました。(岡田)



月刊「ワークホームだより」 3月号

発行:平成 31年 2月 22日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



支援員としての意識の高まり

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

利用者の「作業支援」に少しずつ挑戦し始めています。ワークホーム高砂は、就労支援事業所なので「作業支援」をするのが当たり前なのですが、これまではなかなかそれが出来ていなかったのが現実です。それは、作業の生産をこなすため、利用者には「出来る仕事だけ」に専念してもらい、支援員も作業員として仕事をこなすことに必死だったからです。ですから、利用者の作業の幅が広がることも少なかったですし、生産量を飛躍的に増やすこともできませんでした。しかし、それでも少しずつ職員達が「就労支援事業所の支援員とは何か？」を考え始め、「これではいけない」と利用者の作業の幅を広げる取り組みを始めたのです。今までは、衣類を畳むことしかさせていなかった女性利用者がタオルの包装や検品に挑戦しています。また、シーツの投入が中心だった自閉症の男性利用者が、シーツの結束やラック詰めにも挑戦しています。もちろん、まだまだ十分ではありませんし、始まったと言っても作業部門のほんの一部でしかありません。それでも、こうした新たな挑戦が、新たな変化を生み出しているのも事実です。

先日、ある女性利用者がわざわざ私のところに来て、「園長、今日支援員さんに褒められた」と嬉しそうに報告をしてくれました。新たな作業に挑戦し、出来たことの喜びをかみしめているようで、こちらまで嬉しくなりました。支援員は、「なんで、これが伝わらないのかな？どうしたら出来るようになるのかな？」と、自分の支援力の未熟さに頭を抱え試行錯誤の毎日ですが、それこそが「支援力の基礎」を固めることであり、悩まない支援などないのだと話しています。利用者さんの今できていることだけに満足することは、彼らの能力を「ここまで！」と決めることに他なりません。「職員の支援力のなさを彼らの能力の問題や障害の問題に転嫁して逃げているのだ」と言えば少し言い過ぎでしょうか。

一歩先を見据えた挑戦は、利用者の新たな可能性を開花させることであり、より専門的なプロとしての支援力が求められることでもあります。こうしたポジティブな取り組みの中でこそ、支援員の専門的なチームワークが醸成されるのです。職員同士が切磋琢磨しながら支援のポイントやアセスメントの捉え直しについて、喧々諤々の議論ができる職場でありたいと願っています。何もしない仲良しチームではなく、利用者のための具体的な支援について、しっかりと議論しながら取り組める職場づくりを次年度から再出発させたいと考えています。

2020年度採用者の最後のインターンシップ

2月13日、2020年度採用者の最後のインターンシップがありました。インターンシップは学生の就労体験制度で、学生にとっては就職先を決める重要な機会となるため、受ける私たちの方も緊張します。今回は、男子学生2名と女子学生2名がお見えになり、職場の概要説明と雰囲気体験をしていただきました。いよいよ3月には、2020年度採用試験が始まります。インターンシップの体験有無にかかわらず、一人でも多くの学生が法人あかりの家の採用試験を受けていただきたいと思います。(齋藤)

3月の予定

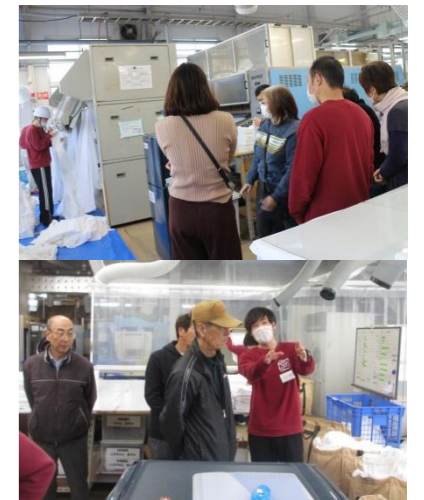
3月6日(水)	サークル活動
3月10日(日)	保護者役員会
3月13日(水)	避難訓練・工賃支給日
3月20日(水)	お疲れさん会
3月27日(水)	清掃日

☆3月の水曜日の終了時間はすべて16:30となりますので、お間違いないようお願いします。

保護者参観日

2月5日、8日(クリーニング・納豆)、11日(納豆)、16日(クリーニング)の4日間保護者参観を開催しました。4日間で30人の保護者さんに作業の風景を見ていただきました。毎年暑いけれど少しずつ改善されていく作業環境を見て頂こうと夏季に開催していた参観ですが、今年度は初めて冬季に開催しました。参観という事で朝から緊張している利用者さん、いつも以上に張り切っている利用さん、色々な表情を見せていましたが、何より保護者さんに働く姿を見てもらうことで自分の仕事に対する誇りが増したのではと思っています。また、保護者さんには冬季の作業環境を見て頂き、貴重なご意見も多数いただきました。今後も参考にさせていただき、環境改善に努めたいと思っています。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。(楠)

クリーニング班



納豆班



納豆班は見学していただく時間の関係で、小粒納豆作りや大粒納豆作り、発酵機から出した納豆の包装のうち一部分での見学となりました。全体を見ていただくことは叶いませんでしたが、どの作業工程でも一貫して“清潔第一”に「丁寧な手洗い」「服装」を意識している姿や、利用者さん一人一人が喋らず黙々と仕事に取り組んでおられる姿を見ていただけたかと思います。実のところ参観日の利用者さん達はいつも以上に静かに作業をされていました。ほどよい緊張感が作業効率を上げ、「見られている」＝「ちゃんとせなあかん！」という社会性が育てられていることにあらためて気づかされました。(西野)

今月の担当は松藤でした

クリーニング班



作業班トピックス

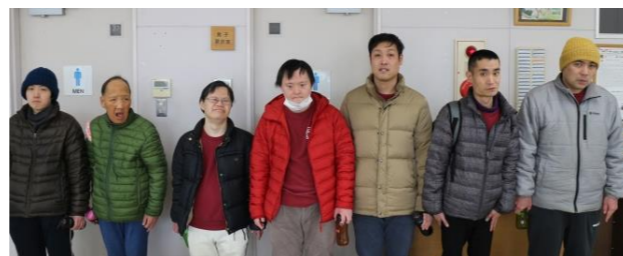


納豆班

現在クリーニング班では閑散期を利用して新しい作業に挑戦したり、これまでの作業の品質向上に取り組んでいます。具体的にはシーツ結束作業を2名体制で行う作業分解や、タオル検品の従事可能者を増やし、作業負担の軽減と同じ作業の固着化の解消などです。みんなが色々な作業に従事することができるようになれば、そこからまた特性に応じた作業マッチングが可能となります。就労施設職員としての本来の仕事である“支援”というものを職員全員でもう一度確認し合い、まず利用者さんの課題を見つける。課題を見つけれないのは職員の専門性不足か利用者さんの卒業の時と捉え、日々奮闘しています。どうやって新しい事を教えるか、どうやって分かりやすく伝えるか試行錯誤しながら邁進している最中です。(楠)



1月上旬から桂が納豆班に入ることが多くなり、今まで作業面ではほとんど関りの少なかった納豆班の7名の利用者さんと一緒に納豆作りを頑張っています。今は納豆作業を覚える事で精一杯ですが、納豆班の利用者さん一人ひとりの新たな発見やクリーニング班とは違った利用者さんへの支援や声掛けなどが新鮮で、毎日いろんなことを考えながら支援させてもらっています。ワークホームに来て6年目になりますが、納豆班の利用者さん7名が私の新しい先生となっています。(桂)



僕たちが桂さんに教えます！

看護師コーナー「正しい手洗いは感染症予防の基本です！」

以前より行っている手洗い指導を引き続き行っています。作業後や昼食前にまず1番にする事は手洗いから！と認識してもらえるよう利用者さんに積極的に声かけをしています。指導開始から4か月、当時から比べると自ら積極的に手洗いをする利用者さんが増えて非常に嬉しく思います。手拭きに関しては、ハンカチでは濡れて雑菌が繁殖し、洗った手がまた汚れてしまうためペーパータオルを使うよう教えています。そのため、持参したハンカチは作業前にロッカーにしまってもらおうというように統一しました。これから暖かくなり汗ばむ時期には作業中もハンカチを使用する事になると思います。それまでには皆さん「手洗後はペーパータオルで拭く」という事が習慣となるよう声かけをしていきたいと思っています。(久木原)

サークル活動でダンス！



DA PUNPの“USA”という歌をご存知でしょうか？ きっと一度は、「カモンベイビーアメリカン」のフレーズを聞かれたことがあるでしょう。先日6日のサークル日に、大きなスクリーンを用意しDA PUNPの“USA”と荻野目洋子さんの“ダンシングヒーロー”をYouTubeで映し出し、即興のダンスホールに見立てたんです。「好きな方の曲で、自由に体を動かしてみよう」と誘いかけたところ、聞きなじみの曲に大盛り上がり！！「えっ、この人が」と驚くくらい出ずっぱりでダンス！ダンス！ダンス！とリズムに乗って体を動かしておられました。普段、同じ姿勢で作業することが多いので考えた企画でしたが、皆さんの意外な一面も見せていただけた楽しいひと時でした。(西野)

実習生さんが2名来られました

1月末から2週間、姫路福祉保育専門学校から実習生さんが2名来られました。実習期間中は、“障害がある・ない以前に、利用者さんは皆社会の先輩である”ことを念頭に、多くの利用者さんと関わっていただきました。最終日には、思わず涙する利用者さんも。実習生さんは、「教室じゃ学ぶことが出来ないことも沢山あり、“障害者”というイメージが変わった」と話されていました。社会に出て、福祉に携わる者として、今後も頑張ってもらいたいと思います。(岡田)



権利擁護研修に参加して

2月8日、兵庫県知的障害者協会が主催する虐待防止研修に参加しました。これは虐待防止についての基本的な知識を学ぶための研修です。その中で、虐待はたとえ利用者への愛情が強い職員であっても、支援の技術や障害特性に対する知識が未熟であれば容易に起こり得るものであるという事を学びました。同時に、利用者の立場にたって何を訴えたいのかを考え続けることが虐待防止につながると感じました。今回の研修を支援に活かしたいと思います。(中右)

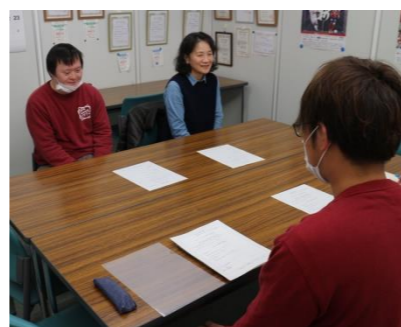
希望山荘前の楠公園で水仙の花が咲きました！

希望山荘日笠の前にある楠公園で水仙の花が咲きました。これは、パート職員の実光さんが丁寧にお世話をしてくれたおかげです。朝の太陽に照らされた時などには自然の美しさを感じずにはいられません。日々の生活の中でこういった癒しを感じられる場所があることに嬉しさを感じます。(松藤)



個別懇談会が始まりました！！

平成30年度も終盤に入り、今年度の振り返りと次年度の個別支援計画の見直しを含めた個別懇談会を順次始めています。ご本人の想いを受け止め、ワークホームと家族との連携を深めていければと思っております。個別懇談の日時につきましては、以前通り袋を通じてお伝えした通りです。お忙しいとは存じますがよろしくお願いします。(藤本)



お知らせ

バンディオンセ加古川よりワークホーム高砂の職員として働いていた伏木さんが2月末をもって退職され、新しく沖野泰斗さんが2月18日より来られています。

初めまして。バンディオンセ加古川の沖野泰斗と申します。身長190cmの25歳です。利用者の皆さんの為に精一杯支援をしていきたいと思ます。よろしくお願いします。(沖野)



ワークホーム高砂、希望山荘で過ごした一年間は本当に充実していましたし、何よりも毎日楽しかったです。利用者さんたちに多くの元気をいただき、仕事できたことはとてもいい思い出です。一年間本当にありがとうございました。またどこかでお会い出来たらなと思います。(伏木)



月刊「ワークホームだより」 4月号

発行:平成 31年 3月 26日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



二つの目標と挑戦 ～新年度への決意～

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

新たな年度がスタートします。私が施設長に就任して7年目となる本年度は、二つの目標を掲げて取り組みます。

一つ目は、クリーニング事業における「直接契約」への取り組みです。現在は、GOTOさんがお客さんと直接契約を行っていますが、ワークホームが直接お客さんと契約を結ぶことに挑戦したいと考えています。GOTOさんの協力を得て、商材の確保や契約ノウハウを勉強しながら新たな方式を目指します。

二つ目は、納豆作業場の確保です。一昨年度から新作業場の確保を目標に掲げながら、なかなか実現していません。土地も確保して構想もほぼ出来つつありますので、本年度は工事の着工に取り掛かり、2020年度からの稼働をめざしたいと思います。

以上の二つの目標を実現するためには、施設長としてのリーダーシップが不可欠です。職員チームをまとめる力、方向性を的確に打ち出せる力、そして何よりも利用者支援についての専門的知識と実践力が必要だと思えます。まだまだ、勉強の途上にあるとの謙虚な気持ちを忘れず、職員と保護者さん、利用者さんの信頼を得られるよう真摯に取り組みたいと思えます。

こうした取り組みを進めるうえで、本年度は新たに「副施設長」を迎えます。私の業務の一端を担っていただきながら、利用者の作業支援にも取り組んでいただきます。保護者の皆さま方には、保護者会総会でご紹介できると思っていますので、どうかよろしくお願いします。

本年度は、新たな年号の元年です。本年度がワークホームにとって歴史に残る一年であったと後に振り返られるよう、この一年を「挑戦の年度」に位置付けたいと思えます。関係各位のご支援とご協力をよろしくお願いします。

保護者役員会が開催されました！ 次年度の保護者会総会は5月19日に開催されます！

3月10日(日)、ワークホーム高砂の食堂において保護者会役員会が開催され、次年度の事業計画など総会に向けた話し合いを行いました。次年度事業計画(案)では、昨年度に引き続き親子レクレーション行事として「バーベキュー大会」を「父親の会」とのセットで実施するほか、保護者の高齢化に伴い親亡き後の課題などをテーマに研修会を開催する案を検討しています。総会は、5月19日(日)10時から予定していますので、多数の方のご出席をお願いします。

(ワークホーム高砂保護者会 会長 藤野洋一)

4月の行事予定

- 4月 3日(水) 職員会議日
- 4月 10日(水) お花見会・工賃支給日
- 4月 14日(日) 保護者役員会(10:00~)
- 4月 17日(水) サークル
- 4月 24日(水) 料理クラブ・職員会議日

※4月は年度の開始にあたり、職員会議を2回設定させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

※4月から職員会議以外は17時終了となります。お迎えの方はお間違いのないようにご留意下さい。

※4月利用者公休日は3月と同様です。なお、5月からは見直します。ご了承ください。

保護者会一年を振り返る会

2月24日に保護者会一年を振り返る会が開催されました。当日は保護者、利用者合わせて34名が参加され、スライドを見ながら今年一年を振り返りました。今年度は、ばんたんゆうあい文化祭へ全員での参加があり、作業の合間を縫っての練習は保護者の方々にも大変ご協力いただきました。当日の映像を見ながら、家で練習していたのを思い出す、当日見に行っただけで本当に良かったという声が聞かれました。作業においても今年度は新たな取り組みへの第一歩の年でした。作業リーダー制、休憩交代制など改めて説明させていただきました。来年度も同じように楽しくこの一年を振り返る会を迎えたいと思えます。(楠)



学生に魅力を伝え、受験者を増やしたい

3月8日(金)は姫路商工会議所、11日(月)は神戸国際展示場にてマイナビ就職フェアが開催されました！これまではインターシップフェアでしたが、就職活動が始まりました。有難いことにあかりの家ブースは学生が途切れることなく来場されました。こういった機会を通して、今後もあかりの家の魅力を伝え、たくさんの方の学生に採用試験を受けて頂きたいと思えます(岡田)



今月の担当は藤本でした。



災害に備えて訓練を実施！



<ワークホーム高砂>

3月13日、消防訓練を実施しました。年2回、防災対策の一環で消防訓練を行っています。今回の内容は避難訓練と消火訓練でした。避難訓練では、火災報知器のベルが鳴るとともに一斉に外の駐車場まで避難を開始。今回、2分5秒で避難完了。前回は2分7秒でした。みなさん、安全かつすばやく避難することができていました。消火訓練では、消防署の方から直接ご指導いただき、消火器の使用方法を学びました。災害はいつ起こるか分かりません。訓練を通して、一人ひとりの災害への意識を高めていけるようにしていきたいです。(宮本)



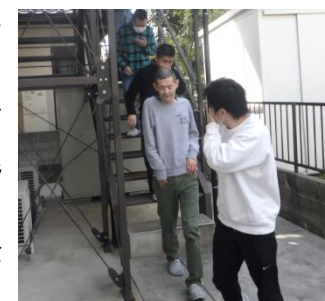
<希望山荘日笠>

3月17日、避難訓練をしました。一回リビングからの出火を想定しての訓練でしたが、皆さん落ち着いて素早く避難することが出来ました。避難後の整列、点呼までしっかりと行うことができ、成長を感じました。実際の火災時において命を守ることが出来るよう、日々備えていきたいと思います。(松藤)



<オリーブの家>

3月18日、避難訓練を実施しました。職員の「火事だー!!」の声で、通報して現場の状況を説明する職員や入居者の方を誘導する職員と分かれて、速やかに避難をしました。入居者は以前にも避難訓練を経験されていたので、混乱もなく、冷静にできていました。体で覚える事が大切なので、今後も避難訓練を実施しながら入居者の方の安全面での強化に努めていきたいと思います。(中右)



☆1年間のお疲れさん会☆

3月20日(水)、食堂にて“おつかれさん会”が行われました！おつかれさん会では、美味しいケーキを食べた後、楠支援助員が作成したスライドショーを観ながらこの一年を振り返りました。全員で参加した「ばんたんゆうあい文化祭」や雨に見舞われた一泊旅行など半年以上前の行事に皆さん歓声をあげていました。来年度も、作業や余暇活動を通して沢山の思い出を作っていきたいと思います。(岡田)



美味しい料理作れるようになったよ！！

<2月料理クラブ>

2月27日、今回は大野さん、梅原さん、中村さん、浜口さん、中右で参加し「巻き寿司」を作りました。大きな海苔にご飯を潰さないようやさしく敷き詰めることや、巻くために具をどこにのせればいいのかを先生に教えて頂きながら、一つ一つ丁寧に作ることが出来ました。とってもおいしく頂きました。(中右)



<3月料理クラブ>

3月6日、少し春の気配を感じる暖かい日に、瀬戸内さん、藤野さん、岸本さんと西野で参加しました。“トマト玄米リゾット・サツマイモのもち麦ポタージュ・マグロと豆腐のハンバーグ・アボガドきのこサラダ・イチゴ大福”とCaféのランチのようなお洒落なメニューです。イチゴを包んでいく作業などを先生に教えてもらいながら作り上げました。お味も抜群！もくもくと美味しく頂きました。ごちそうさまでした!(^^)!(西野)



<2月27日サッカー教室>

バンディオンセ加古川の選手で、ワークホーム高砂の職員でもある吉中さんと伏木さんによるサッカー教室を行いました。サッカー選手に直々にサッカーを覚えてもらう機会が少ないので利用者さんにとっても貴重な経験が出来たと思います。また、バンディオンセの二人がサッカーを教えている様子は、丁寧で、普段の支援員としての様子と違って、頼もしくかつこよかったです。(桂)



サークル活動は楽しいぜ！

<3月6日DVD鑑賞>

今回、利用者さんからDVD見たいとの声があり、「スティッチと砂の惑星」を鑑賞しました。喜んで見てくれるかな！？と不安もありましたが、「あ！スティッチやー！」と喜んでくれる利用者さんもおられ、約50分と長い作品でしたが集中して見る事ができました。普段とは違う利用者さんの一面が見られて私自身も楽しみました！(久木原)



赤穂精華園セミナーに参加しました！

3月5日に赤穂市総合福祉会館で行われた赤穂精華園セミナーに参加しました。関西福祉大学の社会福祉学部教授谷口泰司氏から、「障害者の高齢重度化と共生社会の課題について」お話を伺いました。入所施設の利用者の高齢化に伴い、その保護者さんの高齢化も問題になっていると話されており、ワークホームも一概には否定できない問題だと感じました。今、保護者さんが元気なうちに何かご協力できるものを見つけたいと思います。(桂)

退職のごあいさつ

みなさん、ありがとうございました。

ワークホーム高砂で勤めた3年半の間に、いろいろな体験をさせていただきました。利用者さんの顔と名前を覚えることから始まり、クリーニング班・納豆班の作業を覚えることは大変でした。でも、サークル活動で季節ごとの飾り付けを制作したり、レインボーデーや一泊旅行、全員で参加したばんたんゆうあい文化祭…楽しかったことがたくさん思い出されます。

ワークホーム高砂で出会った全ての方々に感謝！本当にありがとうございました。場所は変わっても、支援の仕事が続けていきたいと思います。三輪明子

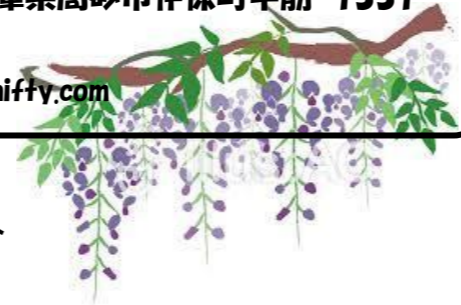


月刊「ワークホームだより」 5月号

発行:平成 31年 4月 25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



障害者に寄り添う姿勢を崩さなかった人

～今津房子さんを偲んで～

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

2019年4月12日の深夜、今津房子さんがお亡くなりになりました。享年86歳でした。

今津房子さんは、ワークホーム高砂の利用者の保護者であると同時に、社会福祉法人あかりの家の理事でもありました。房子さんは、「社会福祉法人あかりの家」の設立に中心的に関わり、房子さんがいなければ法人設立は困難であったろうと思われます。とりわけ、資金集めや土地確保についての苦労は半端ではなかったと聞いています。また、ワークホーム高砂の建築にあっても資金面で随分とご尽力いただきましたし、希望山荘日笠とオリーブの家については、房子さん自身が資金を一人で準備して、無償で社会福祉法人あかりの家に寄付してくださったのでした。正に、ど真ん中で法人を支え続けてくれた方だったのでした。

私自身は、あかりの家に来て初めて房子さんにお会いしたのですが、10年弱の短い期間の中で多くの事をお教えいただきました。自閉症支援の何たるかはもちろんのこと、障害者に寄り添う確かな思想と生き方を学びました。オリーブの家の建築についてご自宅で打ち合わせをしていた時の事です。建築会社の方が、「障害者が暮らす家を建てることについて周囲の方に説明しなくてもいいでしょうか」と尋ねた時でした。その時、房子さんは、きちっと正面を向いて「なんで障害者が住む家だから説明が必要なんですか！みんな同じ人間でしょ。勇三たちが引っ越して来た時に周りの人たちに『お世話になります』と引っ越しのあいさつをするのが普通じゃないですか！」と言い切ったのを今でも鮮やかに覚えています。「障害者だから特別ではない！」との確固とした思想は、房子さんの生き方の中心にどんと居座っていたのでした。

現在の「なっとこちゃん」(納豆の製造販売事業)も房子さんから受け継いだものです。作業場も圧力釜や冷蔵庫も、また、ガスコンロも房子さんが使用していたものを無償でお借りして現在に至っています。「納豆づくり」の奥深さもお教えいただきました。自閉症支援に関して全く素人に近かった職員を叱咤激励し、今の職員たちに育ててくださったのも今津房子さんでした。昨年の秋、体調が優れない中、保護者会主催のバーベキュー大会に車いすで参加していただき、ワークホームの利用者や保護者の方の顔が見たいと各テーブルをゆっくりと回られ、車いすを押していた私に小声で「これで思い残すことはない」と帰り際にポツリと私に話したのでした。「冗談言わないでくださいよ！」と言うと、あの素敵な笑顔で私を見たを昨日のこのように思い出します。あれから約6か月、房子さんは帰らぬ人となりました。房子さんが教えてくれた「障害者と共に生き、寄り添う姿勢」をこれからも自己点検しながら、ワークホーム高砂の運営に責任を持っていきたいと決意しています。ご冥福をお祈りいたします。



「希望山荘日笠別館」もうすぐ完成！

希望山荘日笠の北隣に平屋の一軒家があり、そこを「希望山荘日笠別館」として、現在大リフォーム中です！毎日行われる工事に利用者さんは興味津々。希望山荘日笠も一部工事を行っており、外階段やキッチン、リビング等をリフォームしていただいています。これからは入居者が10名になります。大人数で一緒に暮らす中で楽しい時間を感じてもらえたらと思います。(木澤)



5月の予定

- 5月 1日(水) サークル活動
- 5月 8日(水) 清掃、工賃支給日
- 5月 15日(水) サークル活動
- 5月 19日(日) 保護者会総会
- 5月 22日(水) 職員会議(15:00 終了)
- 5月 29日(水) 清掃



※職員会議日以外は17時終了となります。お迎えの方は
ご注意願います。

※5月から利用者さんの公休日が変わります。先日、連絡させて
いただきましたので、お間違いないようよろしくお願い致します。



季節を感じる～お花見会をしました～

ワークホーム高砂

4月10日、この日はお花見会を予定していましたが生憎の雨模様。昨年度に引き続き、桜を見に行くことは叶いませんでした。桜は見れませんでした。花より団子ということでみんなで和菓子を食べながら楽しい時間を過ごしました！来年こそは必ず桜を見に行きたいと思います。また、グループホームでも休日にお花見に行きましたのでご紹介します。(岡田)



グループホーム



オリーブの家

みんなで日笠山公園に行きました！
桜がとてもいい香りでした！



希望山荘日笠



姫路城でコーヒーを飲みながら桜を見てきました！

☆各作業班今年度の抱負☆

クリーニング班

今年度のクリーニング班の年間目標はずばり、「やってみよう!」です。この目標には昨年度の我々職員の大きな反省があります。昨年、台風の影響等で未洗濯商品が滞留するということがありました。苦肉の策で休憩の交代制、作業リーダー制を導入し、なんとかこの事態に対応することができました。作業リーダー制をとってみても、今まで職員に「利用者さんに任せる」という勇気が無かった為、これまで踏み切れずにいました。それは職員が利用者さんの限界値を決めてしまっていた事実があったからです。この大きな反省をもとに作業面、生活面共にできることをさらに増やしていきたい。職員はどうやったらできるようになるか、何に躓いているかをしっかり見つけ一緒に改善していく。まずやってみる! やらない事には問題も課題も見えてきません。今年度は就労支援施設ワークホーム高砂のスタートの年としたいと強く願っています。(楠)



納豆班

今年度は、納豆班にとって今後を左右する大事な1年になると思っています。今まで、納豆作業を1から築き上げてきた職員がいなくなった中で不安もある一方、新たなメンバー(利用者さん、職員)を加え、今まで以上の新たな納豆班をつくっていく楽しみもあります! また、新納豆作業所が完成した時を見越して、作業分析や環境整理を行い、納豆作業の将来設計図をつくっていききたいと思います。利用者さんの工賃向上も目標に置きながら今年度も美味しい“なっとこちゃん”



をつくっていきます! (桂)

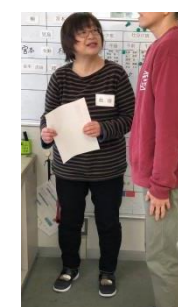


料理クラブ

4月24日、2019年度初めての料理クラブに本田さん、竹林さん、増田康孝さん、吉田さんと楠主任、吉田で参加しました。今回のメニューは「皮膚を健やかにする料理」という事で、“彩いなり・鶏手羽中の柔らか煮・キャベツとサバのトマトジュース煮・かぼちゃとブロッコリーのサラダ・桜もち”を作りました。包丁を使用した野菜のカットや桜もち・彩いなりの成形に苦戦しましたが先生に教えて頂きながら丁寧に作ることができました。(吉田)



2019年度ワークホーム高砂、グループホーム職員紹介♪



新任職員紹介!!



名前: 長谷川 博信
(はせがわ ひろのぶ)
趣味: ラーメン食べ歩き



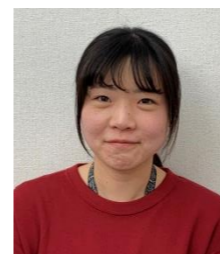
4月から副施設長として働かせていただいています。現在、ワークホームの運営や納豆作業を勉強中です。よろしくお願いします。

名前: 重里 健介
(しげり けんすけ)
趣味: サッカー、旅行



4月から支援員として働かせていただいています。現在、仕分け作業を勉強中です。分からないこともたくさんありますがよろしくお願いします。

名前: 矢野 裕子
(やの ゆうこ)
趣味: 楽器演奏



4月から支援員として働かせていただいています。現在、たたみ作業を勉強中です。まだまだ分からないことが多いですが少しずつ成長していけるように頑張ります。

名前: 吉田 麻紀
(よしだ まき)
趣味: 動画鑑賞



4月から支援員兼栄養士として働かせていただいています。現在、納豆作業を勉強中です。まだ至らない点もたくさんありますが皆さんと一緒に楽しく頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

名前: 檜垣 典子
(ひがき のりこ)
趣味: テレビ鑑賞



4月からオリーブの家のパート職員として働かせていただいています。現在、オリーブの家の夕食づくりを毎日行っています。頑張りますのでよろしくお願いします。

今年度の目標は「挑戦」!! チーム一丸となり何事にも挑戦していきます!!

月刊「ワークホームだより」6月号

発行:2019年5月24日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



20年前のデンマーク

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

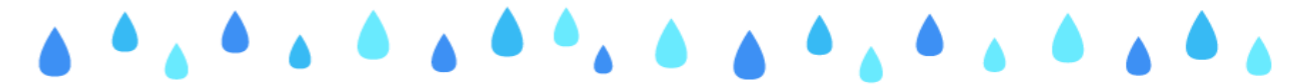
約20年前の秋、研修旅行の一環でデンマークへ行った。バルト海に面したボーゲンセという田舎町にある「日欧文化交流学院」でデンマークの福祉を学んだ。約1週間という短い研修であったが、日本との文化の違いや考え方の違いに驚いた。

日本では、本人がそれを望んでも「この制度はこうなっているから難しいね」ということがけっこう多い。だから、行政にお願いをして「なんとかありませんかね?!」なんて交渉をする。「気持ちはよくわかりますが、今の制度では難しいですね。」「そこをなんとか、特例的にはダメですかね?!」と交渉を続ける。すると、熱心な担当官で「運」が良ければ「制度の隙間」を探し出してくれることもある。だから、日本では障害者の暮らしを考える時には、制度に精通していないとだめなのである。

ところがデンマークでは、「本人が何を望んでいるのか」を前提に話が進み、本人の望む生き方を支えるために政治や行政があるといった感じ。講義をしてくれた30歳台半ばの筋ジスの車いす女性は、自分で募集をして男性ヘルパーを雇用し、数か月後には市議員に立候補すると言っていた。「同性介護でないとダメ」などという発想はなく、その人のことはその人が決めるという発想なのである。日本でも、「私たちのことは私たちを抜きには考えないで!」とのスローガンで障害者総合支援法は検討されたと聞かすが、制度の使いにくさを見ると「言葉倒れ」の感が強い。

象徴的な話としては、「管理責任」という発想自体がデンマークにはない。認知症の人達が暮らすプライエム（日本の特別養護老人ホーム）に行った時のこと。その施設は岸壁近くにあった。自動ドアをあけると約10m先は岸壁。こんな危険なところに施設が建っていること自体不思議だった。日本の施設長なら、「危険だから利用者が自由に出入りできないような工夫」を先ずは考える。ところが、その施設長さんは、本人が自由に出入りできないようにすることは「人権侵害」だと言いつつ。現に、ドアはスイッチを押せば自動で開くドアで、そのスイッチは車いすから押しやすい所に設置してあった。「利用者が海にでも落ちたら、施設長さんの管理責任が問われるでしょ?」と同僚が質問した。「自由に出入りできることを制限すること自体が人権侵害です。危険なところに行きそうであれば安全なところへ誘導はするが、本人の意思を無視して最初から行けないようにすることはしない。もし私たちの気づかぬうちに怪我をしたり命を落としても、私たちの責任が問われることはない」と言っていた。ちなみに職員数は利用者の倍近くいた。驚きと同時にうらやましい気持ちであった。

日本にいと日本の文化が当たり前で、その文化の中で様々な判断をする。しかし、日本から日本を見るだけでは日本のことはよくわからないのではないか。デンマークへ行った時の様々な驚きと感動は、海外の文化に触れてこそ日本の良いところも見えるのだと教えられたような気がした。ところでデンマークの食事は、一日に1回だけ暖かいものを食べるのが普通だった。「日本の食文化は素晴らしい!」と実感したのも、20年前のデンマークに行った時だった。



6月の予定

6月2日(日) 保護者会環境整備

6月5日(水) サークル

6月12日(水) 料理クラブ
清掃・工賃支給日

6月19日(水) サークル

6月26日(水) 職員会議日

※職員会議日以外は17時終了となります。お迎えの方は
ご注意願います。



2019年度 保護者総会が開催されました!

5月19日(日)、ワークホーム高砂の2F 食堂にて、25名の出席者のもと2019年度保護者会総会が開催されました。2018年度事業報告及び決算、並びに2019年度役員体制、事業計画及び予算が承認されました。特に新年度の事業計画は、好評の「親子レクリエーション」や借り上げバスを活用した「保護者見学会」などを盛り込むなど、充実した内容となっています。また、総会の後は久木原看護師による研修会「ワークホームにおける健康管理の取り組み」を実施しました。ますます活性化する保護者会活動に期待しつつ、様々な情報をいただきながら共に成長していきたいと思っております。



今月の看護師コーナー ~BMIって何でしょう?~

ワークホーム高砂では健康管理の為、2ヶ月に1回体重測定を行っていますが今回は体重のみで評価するのではなく、身長をもとにBMIを計算しました!“BMI”はテレビなどでも一度は聞いた事があるのではないのでしょうか!?

[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で肥満や低体重(やせ)の判定に用いられます。肥満の判定基準は国によって異なり、WHO(世界保健機構)の基準では30以上を肥満としているそうです。

日本肥満学会の定めた基準では18.5未満が「低体重(やせ)」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」と分類されます。

BMIが22になるときの体重が標準体重で、最も病気になりにくい状態であるとされ、25を超えると脂質異常症や高血圧などの生活習慣病のリスクが2倍以上に、30を超えると高度な肥満としてより積極的な減量治療を要するものとする。とされています。



今月の担当は岡田でした

希望山荘のリフォームが完了&新しいメンバーが入居しました！

○リフォーム完了！！

希望山荘は、別館のリフォーム工事に伴い、本館でも利用者10人に対応できるようキッチン拡大と、和室をリビングへ変更するリフォームが行われました。約2週間キッチンが使えず、夕食の調理は友愛の家をお借りし、洗いが出来ないため紙皿紙コップで対応しました。リビングに冷蔵庫や電子レンジが仮置きされ狭い中頑張った分、出来上がりには、「きれいやな！」「ひろいな！」と皆で喜び合いました。(木澤)



○新メンバーが入居しました！

オリーブの家

オリーブの家には5/17(金)から新しく福田さんが入居されました。11回の体験入居を経ての本入居ということもあって、オリーブの家での生活にも慣れた様子で過ごされています。

週末には早速買い物や、日笠山公園への散歩などに出かけました！親元を離れての自立の第一歩ですので、これが本人にとって良いものとなるよう一緒に頑張っていきたいと思えます。(松藤)



希望山荘

希望山荘には、西谷さん・小林さん・増田渚さん、そしてオリーブの家から大西さんが入居されました。引っ越しは、お忙しい中保護者の方にも手伝っていただき、ありがとうございました。

本館6名、別館4名の合計10名となった希望山荘は、以前にも増して笑い声の絶えない賑やかなグループホームとなりました。10人で過ごす初めての週末には歓迎パーティと称して全員で宅配ピザを食べました。

全員で支えあいながら、充実した生活が送れるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。(岡田)

料理クラブが行われました！

5月は玉木さん、福田さん、増田渚さん、小林さん、宮本さん、長谷川で参加しました。今週のメンバーは全員、料理も手慣れたグループホーム入居者です。献立は、「豆っこロールキャベツ」、「鶏肉のアーモンド揚げ」、「キャロットラペ」、「わかめと玉ねぎのスープ」、「苺大福」の5品。料理の先生から「上手だね」と褒めていただきました。グループホームでもいろいろな料理に挑戦したいですね。(長谷川)



5月のサークルもスポーツサークルと文化サークルに分かれて活動を行いました！それぞれ「スポーツテスト」「鯉のぼり作り」をテーマに活動！スポーツテストでは、この時期恒例？となった50m走を行いました。2人一組で真剣勝負で競い合う姿はかなりカッコ良かったです。鯉のぼり作りでは、一人ひとり小さな鯉のぼりを作成し、最後は合体し、大きな鯉のぼりを作り上げました！今後も作業とは違う楽しさを感じることができるようなサークル活動にしていきたいと思えます。(重里)



作業報告 ~新メンバーになって2か月~

○納豆班

4月から新しいメンバー(利用者さん、職員)で納豆作業が始まり、早くも2ヵ月が経過しようとしています。ワークホーム高砂に来た当初は、納豆作りも利用者さんの名前や特性も分からないことが多く不安でいっぱいでしたが、納豆作りを通じて利用者さんと関わる事で、少しずつ利用者さんの事が分かり、声かけや作業支援が積極的に出来るようになってきました。また新納豆作業の打ち合わせも最終段階まで来ており、来年度の完成に向けて走り出しています。

5月21日には、高砂市の保育園等の給食の材料として納豆を納品したりと、いろんな形で沢山のの方にワークホーム高砂の納豆を食べて頂いているんだと実感しました。これからも利用者支援を重点に美味しい納豆を作っていけたらと思います。(吉田)



○クリーニング班

クリーニング班では、「5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)」の一環として、5月8日(水)清掃時間を使い、たたみ作業場のレイアウトを変更しました。

作業台の移動、台下に置かれている在庫商品の整理整頓、テーブルや台下を綺麗に拭く、ほうきや掃除機でホコリを集める等、クリーニング利用者さん・職員全員で役割を分担して取り組みました。全員で一生懸命頑張ったおかげで、きちんと整頓された作業のしやすいレイアウトに変更できました。今の状態に満足するのではなく、これからも定期的に作業環境を見直し、より良い環境となるようにしていきたいです。(矢野)



感染症対策の進捗状況のお知らせ

昨年度より進めてきた仕分け班の感染症対策ですが、GOTOさん、各医療機関の協力を得てアクアフィルムでの汚染危険物の搬入が少しずつ始まっています。今後の懸案としては夏場の服装です。現在はポリエチレン100%の生地を使っていますが、通気性がなく夏場を使うのは不可能です。そこで看護師を含め職員で話し合い夏場は綿生地の服にする予定です。次月号では、夏服での作業の様子をお伝えしたいと思います。(楠)



勤務職員掲示板を設置しました！

ワークホーム高砂の玄関入ってすぐの場所に、勤務職員掲示板を設置しました。誰でも一目で当日勤務する職員が分かるようになりました。ワークホーム高砂の職員だけでなく、今後は洗濯場に入られるGOTOスタッフさんも掲示される予定です。(岡田)



月刊「ワークホームだより」 7月号

発行:平成 31年 7月 25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
<http://workhome-takasago.org/> E-mail workhome@nifty.com

「職住分離」を考える

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

住む場所と働く場所が別々であることを「職住分離」と呼んでいます。

先日、高砂市育成会の研修会で「地域生活とグループホーム」というテーマでお話をした際、「職住分離は大事だよ」という話をさせていただきました。「Aさんは職場でBさんと些細なことで喧嘩になりました。グループホームに戻るとAさんはまたBさんと顔を合わせることになり・・・」。こんな話をしながら、切り替えられる環境としての職住分離の大切さを語ったのでした。ところが、私が実質的に管理するグループホームオリーブの家は、全ての利用者がワークホーム高砂に通ってきていますし、希望山荘日笠についても10人中8人がワークホームの利用者なのです。おまけに、グループホーム専属職員は数人しかいないのが現実で、多くの職員はワークホームの作業支援とグループホームの生活支援を兼務しているのです。職住分離は大事だと話しながら、現実には「職住一体」なのです。

しかし、研修会では次のような話もしました。「AさんとBさんの喧嘩をそれぞれの特性を踏まえながら整理し仲裁できる質の高い職員がいて、なおかつ、職場のトラブル情報がグループホーム職員にも共有され一体的に協力しながらチームとして支援できるのならメリットもあるのではないか。ワークホームとオリーブの家や希望山荘は、こうした質の高い支援を目指している」と・・・。現に、オリーブの家の利用者が状態を崩しパニックや物壊しを頻発したときにも、ワークホームとオリーブの家での情報を共有し、支援の方向性を一致させそれぞれの場で一生懸命に取り組み、問題解決を図ってきています。また、希望山荘で朝から動いていない利用者の様子がワークホームの引継ぎで流れ、作業支援の場を通じて普通に動けるようになったケースなど、一体運営のメリットも実感しています。

それでも、やはり「普通の暮らしを創る」という観点からは、素朴に「場の分離」と「職員の分離」という「職住分離」が必要なのではないかと思えます。グループホームだけの運営費で職員を量的・質的に不足なく配置することは、現在の制度報酬では不可能です。高度な専門知識と技術、それに高い倫理意識など「質の高い職員」が必要ではありますが、当面は、「職住一体」の支援メリットを活かせるよう、チームを大切にしながら丁寧な利用者支援を目指したいと考えています。



保護者会 第1回環境整備活動を実施しました。

6月2日(日)、38名が参加し、ワークホーム高砂周辺の草引き等を実施しました。最近はずいぶん暑い日が続いていますが、当日は運よく曇り空の作業日和でした。

休憩時はスポーツドリンクで十分に水分補給をしつつ、利用者、家族、職員で談笑しました。作業終了後は、全員で昼食をとりながらの懇談会。充実した清々しい一日となりました。

次回は7月7日(日)の実施予定です。より多くの皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

(長谷川)



7月の予定

7月 3日(水)	サークル活動
7月 7日(日)	保護者会環境整備
7月 10日(水)	料理クラブ 清掃、工賃支給日
7月 17日(水)	職員会議(15:00 終了)
7月 20日(土)	健康診断
7月 24日(水)	サークル活動
7月 31日(水)	サークル活動

※職員会議日以外は17時終了となります。お迎えの方は
ご注意願います。

今年度の健康診断の日程について

健康診断の日時は7月20日(土)9:00開始となっております。土曜日公休の利用者さんにつきましては健康診断の為、来所して頂く必要がありますので、お間違いのないようご協力をよろしくお願い致します。(久木原)



今年度初開催 GOTO会議！！

6月10日、今年度初めてとなるGOTO会議が開催されました。この会議も今回で通算30回目となりました。今回は、長谷川副施設長を加え7名での開催となりました。会議では、1年間の基本方針、スケジュールの確認を行うとともに、病院寝具協会や今後の医療マーク更新などについて話し合いました。今後も良好な関係を持続させながら、利用者さんが働きやすいワークを考えていきたいと思えます。(楠)

勉強になったNHKフォーラム

6月1日、尼崎市のあましんアルカイックホールであったNHKハートフォーラム「自閉症スペクトラムと強度行動障害」の講演とシンポジウムに参加しました。青山新吾講師の講演のなかで、「分かってくれる人もいるもんだ」や「ここのスタッフは分かろうとしている」等、職員の「語り」の大事さや丁寧な付き合いが重要であることを学びました。午後からは、あかりの家の尾崎課長補佐がリハビリ的短期入所の話をしてくださり、食・眠・排泄/日中活動(作業)を整え健康的で張りのある生活を送る事の大切さも勉強させていただきました。(重里)

今月の担当は桂でした



納豆班情報〜!

★神戸やまぶき財団さんから冷蔵車を頂きました!★

神戸やまぶき財団様より、冷蔵車を寄付していただきました。今はまだ真っ白ですが、今後は大きく『なっとこちゃんステッカー』を張る予定になっていますので、大きくステッカーを張った冷蔵車が街中を走れる日が待ち遠しいです。そして更に、なっとこちゃんの品質向上を目指すとともに、より多くの方においしいなっとこちゃんをお届けできるよう、納豆班一同頑張りたいと思います! (大谷)



食品表示セミナーに参加

6月17日、兵庫県が主催する「食品表示セミナー」に参加しました。セミナーでは、「食品表示基準への対応に向けて」のお話を伺いました。2020年3月31日には、食品表示の移行期間も終了し完全移行となる為、今後納豆班でも新たな基準に対応する食品表示の見直しを行っていききたいと思います。また、栄養成分表示も義務化になる為、納豆班でもパッケージを含め検討していききたいと思います。(吉田)

栄養成分表示 [1個(〇g)あたり]	
熱量	〇kcal
タンパク質	〇g
脂質	〇g
炭水化物	〇g
食塩相当量	〇g

クリーニング班情報!!



仕分け班、夏服に衣替え

この度、仕分け班の作業服が夏服に変更となりました! 感染の恐れのあるリネン類については、開封から一次消毒までをGOTOさんで行っていただいていますので、夏場は熱中症対策を優先し、通気性の良い綿98%生地の作業服を使用しています。また、屋外での作業となりますので、作業中の扇風機の使用はもちろん、1時間おきに15分間休憩を取りながら作業を行っています。(岡田)

6月のサークル活動

おりがみ (文化サークル)

6月の文化サークルでは、折り紙を実施し、『梅雨』をテーマに“てるてる坊主・紫陽花・カエル”を作成しました。てるてる坊主・紫陽花については、顔や葉っぱの絵を書き個性豊かな作品が完成しました。カエルでは、難易度も少し上がったため皆さん苦戦されながらも上手に折られていました。(吉田)



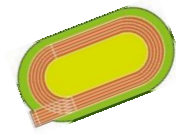
サッカー (スポーツサークル)

6月のスポーツサークルは、体力作りをテーマにサッカーを実施しました。昨年度、バンディオンセの選手から直々に教えて頂いたこともあり、その練習方法を参考にして真剣に楽しく、サッカーに取り組みました。今後も夏の暑さに負けないよう、色々な形で体力作りをしていきたいと思ひます。(桂)



のじぎくスポーツ大会から全国大会へ

5月25日、第13回兵庫県のじぎくスポーツ大会が三木総合防災公園で開催されました。ワークホームからは、稲城さん、小南さん、森崎さんが陸上競技に参加しました。森崎さん、稲城さんについてはメダルには一步届きませんでした。最後まで全力で走る姿がとてもカッコ良かったです。小南さんは、1500m走で金メダルを獲得し、全国大会の切符を手に入れる事が出来ました。今回で全国大出場も3回目となり、全国でも名が知れた選手になってきたと思ひます。金メダルを目指して頑張ってください。(桂)



第10回 日本セルフセンター研究大会に参加しました

〜 テーマ：障害者の真の社会的・経済的自立をめざして 〜

6月13~14日、東京都で日本セルフセンター等が主催する研究大会が開催され、ワークホーム高砂から長谷川、楠が参加しました。工賃向上への取り組みへの事例発表や講演を聞き、クリーニング部会、食品加工部会など16分科会に分かれ、討論等を行いました。全国のB型事業所の平均工賃は月15,603円で、日本セルフセンターの加入施設では、平均22,000円だそうです。事例発表では営業活動や作業の工夫、利用者のライフサイクルに応じた作業や支援を模索するなどの発表を聞き、大いに参考となりました。(長谷川)



※当日の資料

料理クラブ

6月12日、料理クラブがありました。利用者さんは、木本さん、東西さん、棒谷さん、古川さんが参加され、オムライスやけんちん汁等を作りました。利用者さんは、リズムカルに野菜を切ったり、炒めたり、盛り付けも工夫され、最後までボランティアの方の指示を聞いて上手に行っていました。自分たちが作る料理は人一倍美味しく、ほとんどの方が完食され、年に一度の料理クラブを満足されていました。(重里)

月刊「ワークホームだより」 8月号

発行:令和 元年 7月 25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



「アサーティブ」って、なかなか難しい!



ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

先日、播淡地区職員研修会があった。テーマは、「モチベーション向上研修～ポジティブシンキングを仕事に活用する～」というもの。自分の思考と行動パターンを知り、物事をポジティブに考えようという内容。講師から次のような問いかけがあった。「あなたが、スーパーでレジを待っていたところ、突然、年配の女性が列に割り込んできました。当然のことながら、あなたも他の方も割り込みされて嫌な気分になっています。さあ、あなたはどのような行動をされますか?」。こう問いかけられて、日頃の自分の行動を振り返ってみた。たぶん、「険しい表情で、みんな並んでいるんですよ。並んでください!」と、言いたいが、勇気がないので「誰か言わないかな?」って黙認してるかもな～なんて考えた。

どうやら行動パターンとしては、①黙って耐える《非主張型》 ②肘で小突く、大声で注意をする《攻撃型》 ③優しい口調と笑顔で「皆と同じように並んでください」と言う《アサーティブ型》の三類型に分けられるらしい。そして、「非主張型」は、自分の考えや気持ちを抑え相手に言わないタイプ。「攻撃型」は、自分の考えや気持ちを第一に考え、相手に主張するタイプ、そして、「アサーティブ型」は、自分と相手双方の考え・気持ちを踏まえ、正直、素直に相手に伝えるタイプと説明してくださった。この三つのパターンでは、「アサーティブ」であることがベストだとのことであった。

ところが、アサーティブであることは簡単ではないと思う。講師先生もそれは認めたくて、「考え方を考えることで感情や行動をアサーティブに変えることができる」と言っていた。非主張的な人は、「あなたはいい。わたしはだめ」と考えるタイプでストレスが蓄積されやすいから気をつけなければならないらしい。攻撃的な人は、「わたしはいい。あなたはだめ」と考えるタイプで、自分が気がつかないうちに敬遠されたり、嫌われる人らしい。そして、アサーティブな人は、「あなたもいい、わたしもいい」と考えるタイプで建設的な人間関係を築き、前向きにものごとに取り組める人とのことであった。

「言われてみればそうだけれど・・・。わかっちゃいるけど、なかなか難しい」というのが本音である。しかし、職員達みんながアサーティブに考え行動できたら、ことさらチームを強調する必要もないかもしれない。「こんな研修はつまらない」とどこかで思いつつ、今のワークホームの現実を考えさせられる研修でもあった。

保護者会 第2回環境整備活動

7月7日(日)、保護者会による駐車場の除草作業と工場の清掃を行っていただきました。暑い日が続いていますが、昨年度(27名)を上回る29名の方が参加してくださいました。汗を拭き、すっきりとした除草後の駐車場を眺めながら、明日以降の作業に取り組んでいきたいと感じました。

除草作業のみならずワークホーム高砂の労働環境の向上について、保護者の皆さまと一緒に考えていきたいと思いますので、引き続きご協力をお願いします。(長谷川)



8月の予定

- 8月 7日(水) サークル活動・料理クラブ
- 8月 12日(月) 保護者参観 14時～
- 8月 14日(水) 清掃・工賃支給・避難訓練
- 8月 15日(木) 保護者参観 14時～
- 8月 17日(土) 保護者参観 10時～
- 8月 21日(水) サークル活動
- 8月 25日(日) 保護者研修会・保護者役員会
- 8月 28日(水) 会議日(15時終了)

※職員会議日以外は17時終了となります。お迎えの方は
ご注意願います。



7月の料理クラブ



7月の料理クラブは10日にあり、メンバーは岸本さん、田中さん、常峰さん、藤野さんの4名でした。メニューは鯖のスパニッシュオムレツ、切り干し大根のトマト煮、豚汁等。鼻歌を歌いながらリズムに乗って具材を混ぜる姿や、先生の指示のもと一生懸命具材を切る姿等が見られました。完成した料理は全員が完食することが出来、余っていた豚汁やおにぎりに関しては、おかわりをしている方もおられました。4人全員がそれぞれに料理クラブを楽しんでいる様子でした。(矢野)



ひでかつ給食視察を実施



7月1日、ひでかつ給食に長谷川副施設長と吉田で見学へ行ってきました。利用者の皆さんが食べている昼食がどのような衛生管理のもとで作られているかを現状把握できました。ひでかつ給食さんでは、衛生管理はもちろん適温配膳が可能になるよう温度管理に気を付けて調理されていました。また、ワークホーム高砂として衛生面で気になる点については改善を求めました。(吉田)

今月の担当は楠でした

成長感じた 健康診断



7月20日、無事に健康診断を終える事ができました！今年は初めて尽くしの健康診断となりました。まず、正確な検査値を得るために初めて利用者さんに朝食を抜いてきてもらいました。かつ、公休班の利用者さんもある土曜日で、しかも午前中の健康診断。そして私自身ワークホームでの健康診断は初めてで、最初はどうなる事だろう…と心配や不安もあり、利用者さんからも、「朝ごはん抜いてくるのできるかな…？」と不安そうに相談してきた利用者さんもありました。私にとっても、利用者さんにとっても挑戦だったと思います。しかし、全員と言って良い位ほとんどの方が朝食を抜いて来所されており、すごく嬉しく思いました。やろうと思えばできる！そう再確認できた瞬間でした。このようにできたのも、利用者さん、保護者の方々のご協力があった事です。本当にありがとうございました。採血においても、今まで時間のかかる利用者さんとも聞いていたのですが、今年は、ほとんどそのような事が無く終える事ができました。保健センターの職員さんも、去年とは違うね、頑張りました！とその成長にびっくりされていました。また、採血が心配な利用者さんに関しては、採血前後には声かけとフォローアップを支援員と共に行いました。

最初は検査の順番を待ってもらおう利用者さんも出てしまいましたが、予定の終了時間11時には終了する事ができ比較的スムーズに健診を終える事ができました。来年の健康診断も朝食を抜いて午前中にできればと考えております。その際には、またご家族の方のご協力をお願いするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。（久木原）



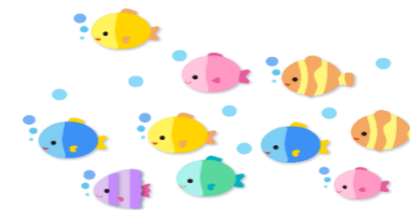
準備着々一泊旅行



楽しみな一泊旅行まで1ヵ月余りとなりました。今年も利用者さんから有志を募り、一泊旅行の実行委員会を結成しています。サークルの時間や休憩時間などを利用して担当職員と協力しながらしおり作り、宴会の企画などを行っています。ただ旅行に行くのではなく、自分たちでやりたい！あしたい！と色々意見を出し合いながら一大イベントを作り上げています。8月にはサークル時間を利用し、全員で班行動の計画を立てていく予定にしています。（重里）

7月のサークル活動

壁面製作



7月第1回目は雨天のため全員で階段に夏を感じさせるような壁面を製作しました。魚や葉っぱの型取りをし、ハサミで型通りに切っていく。魚に色鉛筆や折り紙で模様を塗ったり貼ったりしました。個性豊かでカラフルな魚たちができました。7月24日の第2回目のサークルで壁に貼ります。ワークホームに来られた際にはゆっくりと見てください。（大谷）



7月はたくさん研修会に参加しました

クリーニング師研修

7月4日、加古川市民会館にて行われたクリーニング師研修に参加しました。クリーニング師研修は3年ごとにクリーニング師としての知識や意識を再確認する場です。中でも「衛生法規及び公衆衛生」の分野では、ワークホームとしても力を入れている感染症対策の話もあり、再度学ぶことができて良い機会となりました。感染症対策についてはやはり、日頃の手洗いうがいがい重要とのこと。クリーニング師として、今後もワークホーム全体の感染症対策への意識を高めていけるよう努めていきたいと思っております。（宮本）

全国社会就労センター総合研究大会

7月4日～5日、全国社会就労センター総合研究大会に参加してきました。令和になって最初の研究大会は阿波踊りで有名な徳島県で行われました。今回の大会に参加するまで知らなかったのですが、徳島県は就労継続B型の平均工賃が全国で2位になっているそうです。分科会ではその徳島県の事業所の具体的な取り組みなどをお聞きし、とても有意義な時間でした。今回の研修で得たものをワークホームでも生かせるようにしたいと思います。（桂）

播淡地区職員研修会

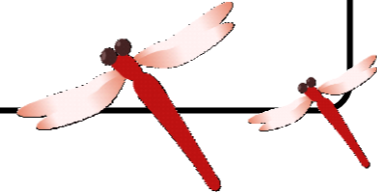
7月5日、播淡地区職員研修会で「モチベーション向上研修～ポジティブシンキングを仕事に活用する～」に参加しました。ある物事をどう受け止めて、行動するかを自分自身で知ることが大切であると学びました。また、アサーティブという、自分と相手双方の気持ちを踏まえて、素直に相手に伝えることがモチベーションを上げるために必要であると講師の方が言われていました。利用者の思いを前向きに受け止めて、考えていくことで自分自身のモチベーションも上げながら取り組んでいきたいと思っております。（中右）

月刊「ワークホームだより」 9月号

発行:2019年 8月 23日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



手つかずの「騒音」対策

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

先日、お盆の真最中に恒例の「保護者参観」を開催しました。8月15日は台風10号の影響で中止となりましたが、一年で最も暑いこの時期に実施することで利用者と職員がどのような環境で作業をしているのかを改めて知っていただくことが目的の一つでした。現在の保護者さんの中には、以前の作業環境を覚えておられて、「昔は大変でしたよね」と言ってくれる方もいましたが、利用者が高齢化してくる中でまだまだ暑さ対策は必要だと思っています。本当に暑い中、また、お忙しい中を参加して下さったご家族の方々に感謝申し上げます。

ところで、2013年に私がワークホーム高砂の施設長に就任して真っ先に取り組んだのが、クリーニング工場の作業環境改善でした。ご存知のようにクリーニング作業は、「暑さ」「埃」「騒音」「感染症」の問題を抱えています。「暑さ」と「埃」の対策では、天井にルーファンを増設して強制排気を行い、東西の排煙窓と南北の窓を増設して空気が流れる構造に作り替えてきました。職員が朝一番に入口のシャッターと窓を全開することで空気の流れをつくり埃を外に放出する努力も続けてきています。また、埃と感染症対策としては、マスク着用の徹底、手洗いの徹底、正しい手洗い方法の習得などにも取り組み、仕分け作業時のつなぎ服も導入し、GOTOさんの協力を得て便汚染と感染系汚染物を洗濯場で直接処理してもらうようにし、運搬車両内のオゾン消毒も実現しています。小さいことのようにですが、こうした努力の積み重ねで現在があるのです。

しかし、全く手つかずなのが「騒音」対策です。大型乾燥機やシーツロールから出る機械音はすさまじく、シーツ班で話をするときには大声で話さないと聞き取れない状況です。利用者に悪影響が出ないのかを心配する保護者さんからの声も聞かれます。騒音については、労働安全衛生法で85デシベル(電車の車内程度)が一つの目安となっています。本年度は、まず作業環境測定を行い、法律上の問題がないかを確認することから始めようと考えています。そのうえで、保護者のみなさんとも問題認識を共有し、法令上の問題があれば具体的な対策に着手したいと思います。

保護者参観でみんなの働く姿を見ていただきました

8月12日と17日、恒例の保護者参観がありました。予定されていた15日は、台風の影響で中止となりましたが、猛暑の中、二日間で14名の方に日ごろ頑張っている利用者さんの姿や今の作業環境等を見て頂きました。保護者の方からは、以前と比べて作業環境が良くなったとの声も頂きましたが、まだまだ課題はたくさんあります。昨日より今日、今日より明日が少しでも良い環境になればとの精神で、働きやすい作業環境と支援を今後も考えていきたいと思っています。(桂)



9月の予定

9月 4日(水)	サークル
9月8・9日(日・月)	一泊旅行
9月 11日(水)	17:00 まで作業・料理クラブ
9月 18日(水)	17:00 まで作業
9月 25日(水)	会議日

※職員会議日以外は17時終了となります。
お迎えの方はご注意願います。
※一泊旅行の振替出勤はせず、
水曜日に17時まで作業とさせていただきます。

半年に1度の懇談会始まる!

利用者さんとご家族のお話を伺いながら、ワークホーム高砂における個別支援計画の見直しを行う「個別懇談会」が始まっています。実施時期は、8月~10月を予定しており、例年とは異なり集中的に実施しないこととしています。各担当職員から個別にそれぞれのご家庭に日程調整の連絡を入れさせていただきますのでご協力をよろしくお願いいたします。(齋藤)

ついに始まりました! 取り壊し作業!

曾根の家の取り壊し作業が8月5日から着工されました。とうとう新納豆作業場に向けて動き出した様子が目に見えて伝わってきました。1ヵ月程で取り壊し作業が完了し、さら地になる予定です。(桂)



2019年度初ワークホームとGOTO合同研修

7月31日、2019年度初のクリーニング研修をワークホーム、GOTO合同で実施しました。今回は7月4日に開催されたクリーニング師研修の内容にそって進めていきました。「衛生法規及び公衆衛生」「洗濯物の処理」をテーマに「クリーニング業とは何か」といった法律的な内容を話し合いました。今回、講師として自分なりに勉強してみましたが、正直難しい内容も多かったですが、クリーニング作業を行う上で知っておいた方がよいと感じました。今後も3ヶ月ごとのクリーニング研修を予定しています。各職員のクリーニングに関する知識や意識を向上していければと思います。(宮本)



今月の担当は大谷でした

なっとこちゃん が商標登録されました

ワークホーム高砂で生産する納豆「なっとこちゃん」が令和1年7月5日付けで商標登録されました。この商標登録をすることで、自らの商品を識別するだけでなく、その商品の出所や品質保証まで示すことが出来、更には広告宣伝の機能まで期待は広がります。

納豆作業班では今回の商標登録を励みに、利用者・職員一同、より美味しい納豆づくりに取り組んで参ります。今後とも、ワークホーム高砂が心を込めてお届けする「なっとこちゃん®」のご愛顧をよろしくお願いいたします。(長谷川)



避難訓練を実施しました



8月14日、避難訓練を行いました。ワークホームでは年2回、消防訓練を位置付けており、万が一の災害に備えて避難訓練や消火訓練、職員による通報訓練を行っています。当日は台風接近中ということもあり、台風時の火災を想定しながらの避難訓練となりました。みなさん、真剣な表情でワークホームから隣の駐車場まで避難することができていました。実際に火災等が起きた場合に冷静に対応できるよう、今後も定期的な訓練を行っていき、災害への意識を高めていきたいと思ひます。(宮本)



今月の料理クラブ



8月7日、濱口さん、小南さん、金谷さん、木澤さん、大谷で料理クラブに参加しました。献立は、鯖缶のカレー炒め、青梗菜の中華風和え物、野菜たっぷり味噌汁、焼きナス、トマトゼリーでした。季節の野菜は魚橋先生が新鮮なものを持ってきてくださいました。みなさん慣れた手つきで上手に包丁を使われていました。

(大谷)



かき氷大会開催!



8月のサークルは、文化・スポーツと分かれることなく全員で行いました。1回目は、お祭り等で見かける大きいかき氷機をレンタルし、かき氷作りを行いました。「冷たくて美味しい!」、「頭がキーンとした!」等と話す方や、おかわりをする方もおられ、皆さんとても楽しんでおられました。また、いよいよ来月に迫った一泊旅行の行動班も発表されました。班ごとに倉敷マップを見ながら行きたいお店を話し合う姿は、皆さん非常に楽しみにされている様子でした。(矢野)



ネックールで暑さ対策



今年も猛暑の時期となり、暑さ対策は昨年同様に職員一丸となって取り組んでいます。しかし、それでも暑い...!そこで今年は首に巻くタイプの保冷剤を使用してみました。先ずはお試して数個購入し利用者と職員で試行してみました。すると、なかなか好評で、「気持ちよい!」「冷たくて良いね。」との意見が多かったため、思い切って全員分を購入しました。一日3回保冷剤を取り換え、作業の終了時には作業着と一緒に洗濯・殺菌をすることとしています。(久木原)



埃と一緒に暑さを吸い取りたい

作業場の空調掃除をしました。フィルターが4mほどの高さにある為、掃除機に塩ビパイプをつぎ足し、一部改造したものを使用して掃除しています。1週間ほどで黒のフィルターが真っ白になってしまいます。少しでも涼しい環境で作業できるように職員一同気付いた時には掃除していきたいと思ひます。(大谷)

2本のパイプを繋げて掃除します。

新人職員紹介



木村 真愛(きむら まな)
趣味:ダンス

8月からたたみ班で利用者さんと一緒に作業しています。作業がスムーズにできるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



大西 祥治(おおにし しょうじ)
趣味:絵画

8月19日より入社しました。明るく、元気に頑張ります。

退職職員



沖野 泰斗(おきの たいと)
7月いっぱいまで退職しました。

主に希望山荘での勤務が中心でしたが、みなさんの笑顔にいつも元気をいただいていた。これからの人生でも、ワークホームでの貴重な経験を活かして頑張っていきたいと思ひます。

月刊「ワークホームだより」 10月号

発行:2019年 9月 24日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-fakasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

一泊旅行を振り返る

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

9月8日、前日まで心配していた台風15号は関東方面へと去り、旅行当日はとて素晴らしい天気です。真夏並みの暑さの中で充実した一泊旅行を無事に終えることができました。実施に当たりご協力いただいたご家族の方やクリーニング作業に配慮いただき、飲み物やお菓子までご心配いただいたGOTOの方にお礼申し上げます。

さて、今年の一泊旅行は、倉敷美観地区でのグループ活動や瀬戸内クルージング、うどん打ち体験、レオマワールドなど盛りだくさんの企画を担当職員が組んでくれました。毎年、一泊旅行にあたっては「目標」を決めます。昨年は、「文化祭に出す合唱を舞台で唄い仲居さんに聞いてもらう」という課題でした。今年は、「必ず一度は宴会の舞台に立つ!」というテーマを職員と利用者に課しました。裏面の写真にその一端を掲載していますが、カラオケで出演する利用者や職員もいましたし、ひげダンスをするグループもありました。顔をマイケルジャクソン(?)風に白塗りをしてパプリカを披露してくれたチーム、キャンディーズを披露してくれた女性職員、トリは、私が提案した「阿波踊り」(?)をオリーブの家グループが楽しく踊ってくれました(私も一緒に)。本当に楽しい宴会で、後日実施した個別懇談会でもご家族の方とその話題で盛り上がっていました。

今回は、私がワークホームに来てから通算7回目の旅行でした。1年目は、岡山への忘年会日帰り旅行、2年目は大阪南をメインに自由散策型の日帰り旅行、3年目はUSJの日帰り旅行、4年目は京都日帰り旅行と「日帰り型」の旅行を四年続けましたが、何れも全ての利用者を参加させることができませんでした。一泊旅行に切り替えたのは5年目からで、全員参加を目標に掲げて名古屋方面へ行きました。「行く、行かない・・・」と、かなりのやりとりをしながらもご家族の協力を得て全員参加の一泊旅行が2017年度に実現しました。6年目は昨年の鳥取方面への旅行でした。仲居さんに「合唱とみなさんの明るい笑顔に勉強させられました!」とあっていただき本当に感動的な旅行となりました。そして、今年は、全利用者職員が舞台上がり重い自閉症の方も含めて場を盛り上げるなど、手作りの宴会の盛り上がりはこれまでで一番だったと思いました。

企画段階や運営にいたるまで、まだまだ課題はたくさんあります。しかし、利用者も職員も着実に実績を積み上げている実感があります。これからも一生懸命働き、思いっきり余暇を楽しむワークホームをめざしたいと思います。

保護者会研修会開催

8月25日に保護者会主催の研修会が開催されました。今回の研修会は法務・会計梅谷事務所の梅谷先生を講師に迎え『親亡き後に備えて』～具体例から学ぶ障がい者の成年後見～をテーマに行われました。成年後見制度を色々な事例を交えながら分かりやすく説明していただきました。今回のテーマは誰もがいずれ直面する課題という事で30人が参加していただき熱心にお話を聞いたり、質問も活発に出ていました。私もお話聞き良い勉強になりました。今後もこのような有意義な研修をどんどん開催して欲しいと思います。(楠)

10月の予定

10月 2日(水)	サークル
10月 9日(水)	清掃・工賃支給日
10月 16日(水)	サークル
10月 23日(水)	サークル・料理クラブ
10月 27日(日)	保護者会 BBQ・父親会
10月 30日(水)	会議日(15時終了)

※職員会議日以外は17時終了の為、お迎えの方はご注意ください。

今月の料理クラブ

9月11日に料理クラブがあり浅野さん、池上さん、岡本さん、西谷さん、吉田で参加してきました。今回のメニューは、きのこご飯、豆腐コロッケ、小松菜の磯辺和え、根菜スープ、小豆蒸しカステラでした。包丁や油の扱いも皆さん上手で先生から褒めて頂くことができました。ボランティアの先生とも積極的にお話しをされ一泊旅行での出来事に盛り上がりました。(吉田)



新任職員紹介



草野 伊織 (くさの いおり)
 趣味: 竹ヒゴで模型を作る事
 特技: 妄想にふける事
 好きな食べ物: 甘いもの全般
 一言: 午前中だけですが、
 よろしくお願ひします。



復帰職員紹介

吉中 波緒人
 (よしなか なおと)

一言: 明るく元気に
 頑張ります。



今月の担当は矢野でした

倉敷美観地

9月8日 11:00~



おいしい!!



倉敷到着



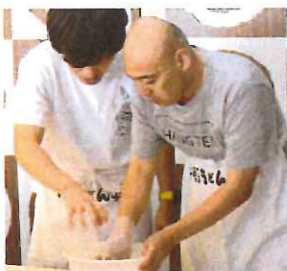
行動班に分かれて自由散策



大原美術館

うどん打ち体験

9月9日 9:00~



自分達で作ったうどんを食べます('ω')

瀬戸大橋遊覧

9月8日 14:30~



待合所の天井には
大きいタコが...!



楽しい宴会の始まり



綺麗!!



一泊旅行

令和元年9月8・9日

レオマワールド

9月9日 10:00~

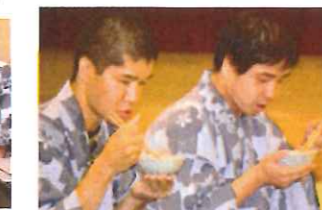


宴会

9月8日 19:00~



浴衣に着替えて
宴会場へ(^^)



9月9日 17:00頃
無事、WHに到着

月刊「ワークホームだより」 11月号

発行:2019年 10月 25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

年老いた父親の入院に想う

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己



先日、父親が心不全で医療センターに入院した。心不全による入院は2度目で87歳と高齢だから今回はいよいよダメなのではないかと覚悟した。医療センターは完全看護で付き添いは不要と思っていたが、夜中に医療センターから電話があった。「点滴を外して落ち着かないので家族の方に来て欲しい」と。かつて異なる病院で「夜間せん妄」が出て同様のことがあったので、今回もそうなのではと思いながら車を飛ばした。病室へ入ると手を縛られて寝ている父の姿があった。やはり急激な環境変化と体調不良で「せん妄」が出て混乱し点滴を外したようで、検査着には血が付いていた。看護師さんの制止を振りきってベッドから降りようとしたり、暴言もかなりあったとのことだった。父の手を握り「ここは病院だから心配しなくていいよ」と何度かなだめるうちに「そうか、そうか」と普通の会話が出来るようになり、薬の力も借りて無事に朝を迎えることができた。しかし、こうした夜の状態は数日間続き、家族は対応に追われたのだった。

高齢者の入院治療で「夜間せん妄」が出ることはよく知られている。父にすれば病院という見慣れない環境と見慣れない医療スタッフという物的・人的環境の変化を認識することが難しかったのだろう。医療スタッフにしても、心不全の「治療」をすることが目的だからゆっくりと患者の特性を把握して対応するゆとりなどない訳で、特に夜間の職員配置はかわいそうなほど少ないのである。こうした双方の問題が、「夜間せん妄」という状態をより「重度化」させるのではないかと。そして、これと同様のことが障害者の場合でも起こり得るだろうと容易に想像でき、年老いた父の入院を通して病院の夜間体制の不十分さを改めて実感したのだった。

現在、父は奇跡的に元気を取り戻し自宅で生活している。年相応の認知症はあるが、83歳の母が作る食事を楽しみにしながら、訪問看護や訪問リハ、デイケアセンターを利用して人生の最後を生き抜いている。本人の「家に戻りたい」という強固な意志と「そうさせたい」と願う家族の想い、そしてそれを真摯に受け止め献身的に治療してくださる医療スタッフと介護スタッフの支えがあってこそその在宅生活である。そして、何よりも少し離れた所で働き暮らす私自身が、その医療・介護スタッフに支えられているのだと、感謝の気持ちで一杯なのである。

福祉や医療は、利用者と家族を支え応援する価値のある仕事である。こうした職業に人材が集まらなくなって久しい。これからの日本はいったいどうなるのか。心配だらけのこの業界の中で、まだまだやらねばならないことが山積していると自分に言い聞かせる毎日である。

ゴトウ・アズ・プランニング第二十九期

経営計画発表会に参加して



10月18日に行われたゴトウさんの経営計画発表会に今年度も施設長と一緒に参加させていただきました。今年で4年間参加させていただいていますが、いつも感心させられるのは目標設定がしっかりと行われているという事です。大きな会社としての目標があり、それに向け各セクションが目標を立てることができていると感じました。我々福祉業界も見習うべきではと思っています。経営に至っては今期も増収増益ということで健全な経営が確認できました。



(楠)

11月の予定

11月6日(水) フラッシング指導、サークル

(加古川歯科保健センターの歯科衛生士によるブラッシングが行われます。指導時にフェイスタオルを使用しますので、お手数ですが、ご持参くださいますようお願いいたします)

11月13日(水) 清掃、工賃支給日

11月17日(日) 保護者会福祉施設見学・研修

11月20日(水) 会議

11月27日(水) サークル

11月28日(木) 歯科検診

*「会議日」以外は17時終了です。お迎えの方はご注意願います。

保護者会からのお知らせ

11月17日(日) 保護者会研修会

12月15日(日) クリスマス会

時間:10時

開催場所:ユーアイ帆っとセンター



2019年度 工賃の見直しについて

社会性も評価対象に!!

ワークホームでは年2回、工賃評価委員会を開催し、工賃の見直しを行っています。具体的には20項目の評価表に基づき、利用者一人ひとりの半年分の様子を全職員で評価しています。評価内容については今までは主に作業に関することを中心に構成していましたが、今回より、働く中で社会性も養っていききたいという視点から評価項目に「毎日、通所することができる」「挨拶をしっかりと行うことができる」等、社会性に関することを追加しました。今回の見直しに伴い、工賃単価の変動があった方もおられます。詳しくは次回工賃の支給日にお知らせ文を配付する予定としています。

(宮本)

2018年度平均工賃の報告

2018年度ワークホーム高砂の平均工賃について紹介します。

○就労継続B型 43,906円(2017年度 39,743円)4,163円向上。

○生活介護 31,120円(2017年度 28,216円)2,904円向上。

○全体 37,513円(2017年度 33,979円)3,534円向上となっています。

今年度についても工賃向上を目指してワークホーム全体で頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願い致します。

今月の担当は重里でした。



新たな作業にチャレンジ

クリーニング班で新たな挑戦！！

10月より、納豆班の玉木さん・浅野さんがクリーニング班へ異動となりました。玉木さんは納豆班所属前、たたみ班でしたが今回は、シーツ班にて“投入作業をマスターする”ことを目標に取り組んでいます。また、浅野さんは納豆班所属前シーツ班でしたが、今回はたたみ班にて“全ての作業を覚える”ことを目標に取り組んでいます。今回は2人同時に新しい作業班に所属となるのでクリーニング職員にとっても新たな挑戦となっています。2人とも覚える事の多さに苦戦していますが、出来た時には職員や他の利用者さんと喜びを分かち合いながら、これからも利用者さん・職員一丸となって頑張っていきたいと思っております！（岡田）



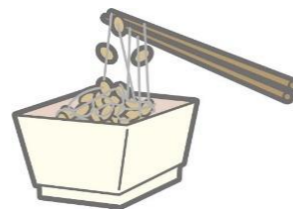
防水シーツ作業に取り組む浅野さん



シーツの投入作業に取り組む玉木さん

納豆班！新メンバーも清潔感を大事に！！

10月の班変成に伴い、西谷さんと増田渚さんが納豆班にやってきました。お客様に納豆を届けるうえで、美味しさに加え、安心と安全をモットーに清潔感を大切にしながら作業に取り組んでいます。新メンバーの西谷さんや増田渚さんにも清潔感を意識してもらえるよう丁寧な支援に努めていきたいと思っております。（桂）



ひ膜を入れる作業に取り組む西谷さん



ラベル貼りに取り組む増田渚さん



サークル活動

今月は「スポーツの秋、芸術の秋」をテーマに活動中！スポーツサークルでは、立ち幅跳びを行いました。シンプルな競技ですが意外と飛び出すタイミングは難しく、みなさん真剣に自己記録を目指して羽ばたいていました！文化サークルでは、「栗」「紅葉」「ハロウィン」等を折り紙で作成し、階段の壁に貼り付けました。特に「紅葉」は難易度が高く、みなさん苦戦していましたが、最後には立派な紅葉を完成することができました。また、現在、12月の保護者会クリスマス会に向けて、全員で「パプリカ」のダンス練習を進行中です。素敵なクリスマスプレゼントになるよう、本番まで練習を頑張っていきたいと思っております！（宮本）



本田さんお疲れさま

本田慎吾さんが10月15日でワークホーム高砂を退所されました。本田さんはワークホーム高砂が開設されて間もないころから来られており、約15年間クリーニング作業で一緒に汗を流し頑張ってきました。これからは新しい事業所で働く事となりますが、本田さんのいい所を十分に活かし頑張ってくれることでしょう。（楠）



平田さんありがとうございました

～平田さんからのお別れのメッセージ～

この度、一身上の都合により退職することになりました。ワークホーム高砂が開設した翌年から勤務させて頂きました。一生懸命働く仲間と今まで一緒に仕事が出来て本当に幸せでした。この数年間の間に作業場の環境もずいぶんと変わり、働きやすい場となった事をひしひしと感じてきました。また、熱中症対策の為、ポカリスエット本当にありがとうございました。

皆さんに助けて頂き元気を貰い、今日まで務める事が出来たことに感謝の気持ちで一杯です。長い間、お世話になりありがとうございました。皆さんも、体に気を付けて頑張ってください。



曾根の祭りに行ってきました。～希望山荘～

10/13(日)に曾根天満宮でお祭りがあり、希望山荘の入居者の方々と一緒に見て回りました。道中、今年の神輿は新調されているものがある事などを話しながら楽しく歩いていきました。帰りに屋台でハットグという韓国発祥の食べ物や鶏皮餃子などの珍しい食べ物を購入し、おやつとしました。また来年も皆で行きたいと強く思いました。（松藤）



月刊「ワークホームだより」 12月号

発行:2019年 11月22日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

利用者と職員の「働き方改革」

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

「働き方改革」という言葉が定着しつつあります。実態は別にして、これまでの働き方では通用しない雰囲気は社会には漂い始めました。そもそも「働き方改革」を国が積極的に取り組む背景には、少子高齢化という社会の課題が反映しています。生産労働人口の減少に伴い持続可能な企業経営を推進するためには、高齢者や女性、外国人などこれまで生産労働に携わっていなかった方にも参加してもらわなければ企業経営を維持・発展させることは不可能であり、ひいては日本経済の失速を招きかねないとの危機感が背景にはあります。

さて、こうした社会の動きを念頭に置きつつ、今のワークホーム高砂の現状を見てみると、やはり「働き方改革」の必要性に迫られているといえます。利用者課題では、新規の利用者獲得が難しくなっています。背景には、「ここまで働かせなくても・・・」「ここまで働くなら最低賃金ぐらいは・・・」「せめて『お盆休み』くらいは・・・」「自力通勤でなく送迎がなければ・・・」などの声が保護者から出ていると、特別支援学校の先生が教えてくれました。

職員課題では、何よりも人材の確保が困難となっています。そして、いったん確保しても労働条件や働きやすい職場を探して職員が流出し始めています。「クリーニング作業に追われるのではなく支援員の仕事をしたい!」「こんなに暑い職場ではなくエアコンの効いた職場で働きたい!」「重労働の割に給料が安い!」「一週間に一度の宿直で、休みが少ない!」などの悲痛な声が聞こえています。それでも、今いる職員たちは、困難な状況の中でも利用者と共に一日を過ごすことの喜びと価値を見出し、働き甲斐を見つけて一生懸命に働いてくれています。しかし、いつまでもこうした課題を放置することは出来ないのです。

ワークホーム高砂の中心は、ゴトウ・アズ・プランニング社(以下「GOTO」という。)から受託するクリーニング事業です。したがって、職員と利用者の「働き方改革」は、GOTOとの課題共有を抜きには根本的には解決できないという特殊事情を抱えています。施設長の私が明日から改善できるのは、先に掲げた課題のうち「送迎の実現」ぐらいで、あとはGOTOとの交渉を進めていくしかないのが現状です。

先月、GOTOとの会議で現状に対する改善方針の方向を問題提起しました。工場運営の課題と経営課題に分けて今後は議論を進めることとしています。利用者の工賃向上、作業時間の短縮に加え、来年に迫っている医療関連サービスマーク更新の有無も含めて優先順位の高いものから解決の方向性を見出していきたいと思えます。利用者が新たに出来ない状況は、ワークホームの経営を圧迫します。また、働く職員が確保できない今の状況は、「努力で何とかできる」域を完全に超えており、早急に方向性を明確化し改善への歩みを進めなければならない状況です。こうした現状をご理解いただき、関係各位のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

GOTOと現場課題を話し合う「運営会議」を開催!

11月20日、GOTOとワークホーム高砂の関係者による現場レベルの「運営会議」が初めて開催されました。この会議は、現場レベルの課題を放置することなく課題を共有し解決の糸口を探るために設けたもので、今後も定期的に開催する予定です。今回は、GOTOから安杖社長、岡本さん、吉岡さんの3名が出席していただき、ワークホームからは齋藤施設長、宮本副主任、楠に加え、オブザーバーとしてあかりの家三原施設長、藤原事務局長にも参加していただきました。会議では、商品の滞留現状について原因を議論し、12月中旬を目途に解決することを確認しました。「協業」という特殊な運営だけに双方の意思疎通が何よりも大切です。今後も運営会議や日常のさりげないコミュニケーションを通じてGOTOとの意思疎通を図り、利用者の働きやすい作業環境を創っていききたいと思います。(楠)



12月の予定

12月 4日(水)	会議
12月 11日(水)	サークル・工賃支給
12月 15日(日)	保護者会主催クリスマス会
12月 18日(水)	年末清掃
12月 25日(水)	会議
12月 28日(土)	仕事納め

*12月は「会議日」が2日あります。ご注意願います。

*「会議日」以外は17時終了です。お迎えの方はご注意願います。

1月 4日(土) 仕事始め。全員出勤

1月 6日(月) 全員出勤

*1月11日(土)から通常公休です。

～お知らせ～

あかりの家が毎年開催するナイスハートバザールが今年もあります。是非足を運んで下さい。

12月7日(土) 9:00～19:30

8日(日) 9:00～15:00

場所:アスパ高砂店1階 セントラルコート



15年分の埃を掃除

10月27日、保護者会主催の父親の会が開催されました。今年はお父さん方に何をしてもらおうかと頭を悩ませましたが、屋外清掃をしていただくことにしました。今回の屋外清掃は、普段商品のラックが埋まっているアスファルトを清掃していただきました。

まず全てのラックを駐車場に移動することから始めました。全部で100台近くあるラックを10数名でひたすら運び出すと15年分の埃が溜まったアスファルトが顔を出しました。デッキブラシや高圧洗浄機を使い清掃すると見違えるように綺麗になりました。乾燥後ラインを初めて引いたラック置き場は、整理整頓がしやすくなりました。今回はお父さん方の協力もあって初めてできたことだと思います。これまで気にはなっていたても手を付けることができなかった事が、本当に意味のある父親の会であったと思います。また工場内清掃を担当していただきましたお母さん方、本当にありがとうございました。

《追伸》

後日、中村さんのお父さんが、浄化槽点検口の取っ手にラックのタイヤが挟まり大変だという事でフラットになるカバーを作ってくださいました。とても作業がしやすくなり助かっています。本当にありがとうございました。(楠)

今月の担当は吉田でした。



ブラッシング指導



11月6日、加古川歯科保健センター歯科衛生士によるブラッシング指導がありました。皆おもしろい方法で歯磨きをし、きれいに磨けている利用者さんや「もう少し頑張りましょう！」と声をかけられる利用者さんもいました。(赤い着色剤を歯につけて、歯磨きをして着色剤がとれていなければ磨けていない事となります)その後は歯科衛生士によるブラッシング指導が個別にあり、皆熱心に鏡を見ながら磨いていました。歯磨きは、風邪や肺炎の予防となりますので、教えてもらったブラッシング方法を忘れずに…これからも毎日きちんと継続して欲しいと思います。(久木原)



バーベキュー大会！！

10月27日、ワークホーム高砂にて保護者会主催のバーベキュー大会が行われました。

お肉、海鮮、焼きそば等、どれも美味しいものばかりでした！また、普段中々お会い出来ない保護者の皆さまと有意義な時間を過ごすことが出来ました。保護者会の方々も、お忙しい中、準備を下さりありがとうございました！(岡田)



五色精光園祭 納豆販売！！



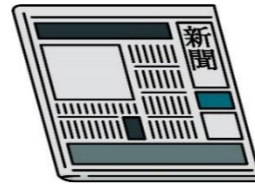
10月26日、五色精光園祭にてなっとこちゃんの販売を行いました。増田渚さん・古川さん・西谷さん・今津香苗さん・桂副主任・吉田の6人で参加させて頂き、持って行ったなっとこちゃん 150個を完売する事ができました。今回の販売では、45gのなっとこちゃん 3個と、しそのりのなっとこちゃん 2個をセットにして300円で販売し、多くの方に買って頂くことができました。利用者の方は、「なっとこちゃんいかがですか？」「美味ですよ！」としっかりと大きな声でお客様の呼び込みをして下さっていました。(吉田)



東はりま特別支援学校が見学に来られました！



11月12日、東はりま特別支援学校高等部1年生約50名が見学に来られました。当日は楠主任による「ワークホーム高砂」についての講話、宮本によるクリーニング作業場の説明を行いました。作業場見学では、利用者さんが作業している姿やシーツロール等の機械を見ていただき、防水シーツのたたみを体験してもらいました。短い時間でしたが、ワークホームを知ってもらえたと思います。今後こういった機会を通して、「働く」ことの楽しさとワークホームの事業を伝えていきたいです。(宮本)



を使ってレクリエーション

11月6日のサークルは、新聞紙だけを使ってレクリエーションを行いました。ハサミやのりは一切使用せず、新聞紙のみで紙相撲を行ったり「海」をつつたりと簡単に安全に遊ぶことができました。以前に研修会で新聞紙を使ったレクリエーションを学ぶ機会があり、今回それを実践に活かすことができ良かったと思いました。(桂)



ユニフォームが新しくなりました

寒くなって来たので、11月1日からトレーナーに衣替えしました。今年はトレーナーを新調し、TシャツやロングTシャツと同じデザインに変更しました。ロゴの色は6色あり、職員はオレンジ、利用者さんはサイズごとに色を変え、自分のサイズのユニフォームが分かりやすいように配慮しました。基調は、ネイビー色のなので、分かりやすくなるようロゴは明るめの色で作製し、可愛い感じになりました。(大谷)



料理クラブ



今月の料理クラブ(11月20日実施)では、お弁当の中に詰められる料理を作りました。利用者さんは、油の跳ね返りを避けながら具材をひっくり返したり、均等な大きさになるように工夫しながら調理していました。先生が盛り付けたお手本のお弁当を見ながら、慣れない手つきながらも盛り付けを頑張る様子が見られました。(矢野)



保護者会研修会

～赤穂精華園と西播磨総合リハビリテーションセンターを見学～

11月17日、今年度も保護者会主催の研修会がありました。今回は赤穂精華園と長谷川副施設長の前勤務先である西播磨総合リハビリテーションセンターを視察しました。保護者さん、利用者さん合わせて25名が参加下さり、職員3名と合わせ28名の研修会となりました。赤穂精華園では入所施設、就労施設、グループホームなどを見せていただきました。またフェンスや門扉のない広大な敷地内を利用者さんが自由に過ごしている姿はとても新鮮でした。西播磨総合リハビリテーションセンターでは木材をふんだんに使った美しい建屋や体育館を見せていただいたり、最新の福祉用具の説明をもらいました。今年度も充実した研修会だったと思います。(楠)

